

豊田市美術館
年報

ANNUAL REPORT
Toyota Municipal Museum of Art

NO. **19**

凡例

●常設展示、企画展示の出品作品および購入作品、寄贈作品のデータは、原則として以下のとおりに記した。

作家名

作品名

制作年

技法／素材

寸法（縦×横×奥行、高さはH、直径はφで表示）

所蔵者

不明な項目は記載していない。また、常設展示と購入作品、寄贈作品における所蔵者「豊田市美術館」の記載も省略した。

目次

常設展

- 004 第1期常設展示
- 006 第2期常設展示
- 008 高橋節郎館 第1期常設展示

特別展・常設特別展

- 010 ドイツとオーストリアの雑誌とデザイン
| 1890-1910
- 015 夏休み子どものプログラム2014
「こじまひさやーあっち | こっち | どっち？」

企画展

- 017 荒木経惟 往生写真-顔・空景・道
- 020 ジャン・フォートリエ
- 025 生誕百年 高橋節郎展

アウトリーチ活動

- 030 休館中のアウトリーチ活動

作品管理

- 033 収集作品一覧
- 036 作品貸出実績

教育・普及

- 038 講演会、シンポジウム
講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ
- 039 コンサート、映画上映会、パフォーマンス 等
作品ガイドボランティア
出版、ビデオ制作
小・中学校美術館学習
研修会
- 040 博物館実習

利用実績

- 041 観覧者数
ギャラリー利用状況
- 042 図書閲覧室利用状況
レストラン等付属施設利用状況

組織

- 043 組織図
- 044 美術館運営協議会
美術品収集委員会
美術館ボランティア
作品ガイドボランティア

関係法規

- 045 豊田市美術館条例
- 046 豊田市美術館管理規則

沿革

050

第1期常設展示

2014年4月22日 [火]ー 6月29日 [日]
61日間
展示室 5-7

展示室 5

01

安田 靱彦
風来山人
1930年
墨、膠彩、紙
78.0×118.0cm

02

奈良 美智
Dead Flower
1994年
アクリル、綿布
100.0×100.0cm
寄託作品

03

エゴン・シーレ
悲しみ
1914年 (1922年刷)
ドライポイント、紙
48.2×32.0cm

04

エゴン・シーレ
少女
1918年 (1922年刷)
リトグラフ、紙
21.1×37.3cm

05

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

06

山本 丘人
海の微風
1936年
膠彩、絹布
173.6×180.6cm

07

今村 紫紅
大井川
1913年
膠彩、絹布
136.0×56.0cm

08

グスタフ・クリムト
オイゲニア・プリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

09

グスタフ・クリムト
眠る裸婦
1915年頃
鉛筆、紙
35.8×56.0cm

10

アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの頭部
1953-54年頃
インク、紙
22.0×14.0cm

11

アルベルト・ジャコメッティ
ディエゴの胸像
1954年
ブロンズ
39.5×33.0×19.0cm

12

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

13

メダルド・ロッソ
門番女
1883-84年
ブロンズ
38.0×35.0×16.0cm

14

エゴン・シーレ
男性裸像 (自画像) I
1912年
リトグラフ、紙
44.8×40.0cm

15

グスタフ・クリムト
<オイゲニア・プリマフェージの肖像>の習作
1913/14年
鉛筆、クレヨン、紙
56.5×36.0cm

16

大澤 鉦一郎
少年
1918年
油彩、カンヴァス
35.0×27.3cm

17

和田 英作
風景
1951年
油彩、カンヴァス

60.6×50.0cm

18

ジェームズ・アンソール
愛の園
1888年
油彩、カンヴァス
96.0×112.0cm

19

小杉 放庵
老君出関
1929年
墨、膠彩、絹布
127.7×36.0cm

20

速水 御舟
鯉
1922年
鉛筆、紙
54.5×69.5cm

21

秋野 不矩
沼
1999年
膠彩、紙
113.0×115.0cm

展示室 6

22

小堀 四郎
シリア砂漠
1976年
水彩、パステル、紙
27.2×39.3cm

23

小堀 四郎
チグリス河畔 車中より望む
1976年
パステル、紙
28.2×38.3cm

24

小堀 四郎
アブ・マリヤの南 テル・エ・サラサートにて
1976年
パステル、鉛筆、水彩、紙
28.2×38.7cm

25

小堀 四郎
バルコン
1932年頃
油彩、カンヴァス
46.0×37.6cm

26

小堀 四郎
想ひ
1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

27

小堀 四郎
赤衣の女
1932年
油彩、カンヴァスボード
45.5×38.0cm

28

小堀 四郎
黄衣の女
1932年
油彩、カンヴァス
162.2×114.0cm

29

小堀 四郎
厨房 (アトリエの一隅)
1931年
油彩、カンヴァスボード
55.0×46.1cm

30

小堀 四郎
アトリエにて
1931年
油彩、カンヴァス
73.5×54.2cm

31

小堀 四郎
サマラ市遠望
1976年
パステル、鉛筆、紙
28.2×38.2cm

32

小堀 四郎
古都バクダット ユーカリの古樹の並木
1976年
パステル、水彩、鉛筆、紙
28.2×38.6cm

展示室 7

33

宮脇 綾子
あやめ
1962年
アブリケ
39.2×99.5cm

34

宮脇 綾子
山うど

1976年

アブリケ
26.7×23.6cm

35

宮脇 綾子
菊
1981年
アブリケ
34.4×56.3cm

36

宮脇 綾子
ぼうふらのいる瓶
1981年
アブリケ
106.5×112.5cm

37

宮脇 綾子
かわいい毛虫
1986年
アブリケ
32.0×21.2cm

38

宮脇 綾子
どくだみ
1969年
アブリケ
34.5×18.0cm

39

宮脇 綾子
ごこみ
1986年
アブリケ
25.5×37.0cm

40

宮脇 綾子
いちご
1980年
アブリケ
31.0×38.0cm

41

宮脇 晴
赤と黄の椅子
1957年
油彩、カンヴァス
89.4×130.3cm

42

宮脇 晴
戯れる
1954年
油彩、カンヴァス
100.0×80.3cm

43

宮脇 晴
笛
1965年
油彩、カンヴァス
116.7×72.7cm

44

宮脇 晴
二人の乗る馬
1964年
油彩、カンヴァス
130.3×130.3cm

45

宮脇 晴
シャボン玉吹き
1956年
油彩、カンヴァス
100.0×80.3cm

46

宮脇 晴
少女立像
1932年
油彩、カンヴァス
92.0×65.0cm

第2期常設展示

2014年7月12日〔土〕－9月15日〔月・祝〕
59日間
展示室 1-3、6、7

展示室 1

01
大野 徹嵩
黄・円 No. 1 (三つのフォルム)
1967年
綿、コンクリート、顔料
182.0×162.0cm

02
草間 彌生
No. AB.
1959年
油彩、カンヴァス
210.3×414.4cm

03
白髪 一雄
無題
1959年
油彩、カンヴァス
182.0×272.8cm

04
田中 敦子
Work 1963 B
1963年
合成樹脂エナメル塗料、カンヴァス
162.2×133.5cm

05
堂本 尚郎
連続の溶解 1963-60
1963年
金箔、油彩、カンヴァス
130.0×91.0cm

06
吉原 治良
無題
1961年
油彩、カンヴァス
162.0×131.0cm

07
フランシス・ペーコン
スフィンクス
1953年
油彩、カンヴァス
151.0×116.0cm

08
ゲオルク・バゼリッツ
羊
1964年
油彩、カンヴァス
162.3×130.4cm

09
アルベルト・ブッリ
赤 プラスチック

1964年
燃烧、プラスチック、カンヴァス
60.0×50.0cm

10
ジャン・デュビュッフェ
存在の漏出
1950年
油彩、イソレル
55.0×46.0cm

11
イヴ・クライン
モノクローム IKB 65
1960年
顔料、合成樹脂、カンヴァス、合板
199.0×152.5cm

12
ピエロ・マンゾーニ
無色
1958/59年
カオリン、装のあるカンヴァス
80.0×60.0cm

13
伊島 薫
Sakai Maki wears Jil Sander
2008年
ゼラチンシルバープリント
180.0×217.5cm、180.0×150.0cm、
180.0×217.5cm

14
小川 待子
2011-TO1
2011年
セラミック
9点組 インスタレーション

15
小嶋 悠司
穠土・源生
1991, 2008年
膠彩、デトランプ、金箔、麻布
220.0×700.0cm

16
さかぎし よしおう
4018
2004年
セラミック
12.7×12.5×4.0cm

17
さかぎし よしおう
5014

2005年
セラミック
14.3×15.1×7.0cm

18
さかぎし よしおう
7029
2007年
セラミック
8.7×8.7×6.5cm

19
さかぎし よしおう
8012
2008年
セラミック
7.3×7.5×7.7cm

20
坂本 夏子
Overflow
2008年
油彩、カンヴァス
218.2×291.0cm

21
長谷川 繁
タイトル無し
1996年
油彩、綿布
302.0×198.0cm

22
長谷川 繁
タイトル無し
1998年
油彩、綿布
303.0×193.0cm

23
小堀 四郎
早春（柿生）
1941年頃
油彩、カンヴァス
60.7×72.7cm

24
小堀 四郎
鶴川風景（夏）
1944年
油彩、カンヴァス
73.0×53.5cm

25
小堀 四郎
鶴川風景（ひぐらし）
1944年
油彩、カンヴァス
72.5×50.3cm

26
小堀 四郎
高原の夕陽
1947年
油彩、カンヴァス
65.3×91.1cm

27
小堀 四郎
高原暮色（夢科）
1953年
油彩、カンヴァス
41.2×53.1cm

28
小堀 四郎
秋の星
1953年
油彩、カンヴァス
41.0×53.0cm

29
小堀 四郎
冬の星
1953年
油彩、カンヴァス
45.7×65.5cm

30
小堀 四郎
星と雲
1955年
油彩、カンヴァス
45.4×53.2cm

31
小堀 四郎
花火
1955年
油彩、カンヴァス
80.5×60.9cm

32
小堀 四郎
高原の星夜
1961年
油彩、カンヴァス
91.2×117.4cm

33
小堀 四郎
赫光
1969年
油彩、カンヴァス
149.0×162.5cm

34
宮脇 晴
子供たちと母

1942年
油彩、カンヴァス
97.0×130.3cm

35
宮脇 晴
鳥羽川の橋
1946年
油彩、カンヴァス
72.7×116.7cm

36
宮脇 晴
食後
1946年
油彩、カンヴァス
72.7×100.0cm

37
宮脇 晴
家族
1951年
油彩、カンヴァス
72.7×100.0cm

38
宮脇 綾子
葉の花
1950年
アブリケ
22.5×28.3cm

39
宮脇 綾子
なす
1960年
アブリケ
28.8×52.3cm

40
宮脇 綾子
二十日大根
1961年
アブリケ
30.5×39.5cm

41
宮脇 綾子
あやめ
1963年
アブリケ
56.0×36.3cm

42
宮脇 綾子
ねこじゃらし
1964年
アブリケ
60.0×30.0cm

43
宮脇 綾子
かやつり草
1964年
アブリケ
60.0×30.0cm

44
宮脇 綾子
つゆくさ
1964年
アブリケ
32.0×27.0cm

45
宮脇 綾子
どくだみ
1965年
アブリケ
38.5×29.2cm

46
宮脇 綾子
紫玉ねぎ
1966年
アブリケ
28.0×37.0cm

47
宮脇 綾子
れんこん
1968年
アブリケ
30.2×38.1cm

高橋節郎館 第1期常設展示

2014年4月22日〔火〕－6月29日〔日〕
61日間
高橋節郎館

01 高橋 節郎 化石群 1967年 鍍金、彩錆絵 95.0×130.3cm	179.2×169.6cm
02 高橋 節郎 化石深海 A 1964年 モノタイプ（版画）、漆、紙 63.4×95.3cm	10 高橋 節郎 遺森の記 1974年 鍍金 175.8×163.4cm
03 高橋 節郎 化石深海 B 1964年 モノタイプ（版画）、漆、紙 59.5×95.0cm	11 高橋 節郎 星座回帰 1986年 鍍金、螺鈿、堆朱 176.7×173.7cm
04 高橋 節郎 古墳 1964年 彩錆絵 123.3×95.3cm	12 高橋 節郎 遥かなる郷愁 1956年 鍍金 157.5×109.0cm 寄託作品
05 高橋 節郎 古墳悠悠 1985年 鍍金、螺鈿、堆朱 176.3×173.0cm	13 高橋 節郎 夢・太古の星座 1995年 鍍金、箔押、螺鈿、堆朱 176.0×86.0cm
06 高橋 節郎 天宙の記 1972年 鍍金 182.0×182.8cm	14 高橋 節郎 夢・縄文の星座 1996年 鍍金、箔押、螺鈿、堆朱 176.0×86.0cm
07 高橋 節郎 古墳群映 1977年 鍍金、螺鈿 182.0×172.0cm	15 高橋 節郎 花天 1990年 鍍金、螺鈿、堆朱 90.7×116.6cm （公財）高橋記念美術文化振興財団
08 高橋 節郎 断層 1962年 朱叩き塗 188.1×182.8cm	16 高橋 節郎 樹下小憩 1980年 鍍金、螺鈿 120.0×87.3cm
09 高橋 節郎 古墳月彩 1979年 鍍金、螺鈿	17 高橋 節郎 静物 制作年不詳 水彩、墨、紙 38.0×27.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団

18 高橋 節郎 静物 制作年不詳 水彩、墨、紙 37.8×26.8cm （公財）高橋記念美術文化振興財団	モノタイプ（版画）、漆、紙 81.0×54.0cm
19 高橋 節郎 昆蟲記 II 1989年 染付、陶器 1.3×27.0×35.0cm	27 高橋 節郎 邑 1959年 モノタイプ（版画）、漆、紙 63.3×75.8cm
20 高橋 節郎 昆蟲記 III 1989年 染付、陶器 1.1×28.2×32.2cm	28 高橋 節郎 化石の山 1997年 木芯乾漆 30.0×74.0×17.0cm
21 高橋 節郎 昆蟲記 V 1989年 染付、陶器 1.5×27.1×35.0cm	29 高橋 節郎 赤い化石 1997年 木芯乾漆 51.0×24.5×15.3cm
22 高橋 節郎 昆蟲記 VI 1989年 染付、陶器 1.5×35.0×27.1cm	30 高橋 節郎 地久大恵 4 1993年 木芯乾漆 71.0×14.5×14.5cm
23 高橋 節郎 昆蟲記 IX 1989年 染付、陶器 1.1×32.3×28.1cm	31 高橋 節郎 地久大恵 8 1993年 木芯乾漆 53.0×10.5×27.0cm
24 高橋 節郎 宙 1977年 鍍金 121.3×85.0cm	32 高橋 節郎 地久大恵 樹1 1994年 木芯乾漆 36.0cm、Φ17.0cm
25 高橋 節郎 譚 A 制作年不詳 モノタイプ（版画）、漆、紙 81.0×54.0cm	33 高橋 節郎 地久大恵 樹2 1994年 木芯乾漆 20.0cm、Φ6.5cm
26 高橋 節郎 譚 B 制作年不詳	34 高橋 節郎 半月型水盤 黒 1950年代 陶胎漆器 5.5×35.5×16.5cm

35 高橋 節郎 半月型水盤 白 1950年代 陶胎漆器 6.0×37.0×20.0cm	52.7×94.0cm
36 高橋 節郎 変形菱形水盤 黒 1950年代 陶胎漆器 5.0×35.3×24.8cm	44 高橋 節郎 枕草子 2000年 書／墨、水彩、紙 33.8×104.0cm
37 高橋 節郎 変形菱形水盤 白 1950年代 陶胎漆器 5.0×36.0×25.0cm	45 高橋 節郎 徒然草 1996年 書／墨、水彩、紙 32.7×99.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団
38 高橋 節郎 鍍金線紋四方盆 琴弦 1 1994年 鍍金 3.0×23.1×23.0cm	46 高橋 節郎 古都の民家 1982年以前 墨、水彩、紙 44.0×28.5cm
39 高橋 節郎 鍍金線紋四方盆 琴弦 2 1994年 鍍金 3.0×23.0×23.0cm	47 高橋 節郎 古都所見 秋篠寺 1982年以前 墨、水彩、紙 45.6×29.8cm
40 高橋 節郎 鍍金線紋棗 琴弦 1982年 鍍金 6.4cm、Φ6.7cm	48 高橋 節郎 古都所見 聖林寺 1982年 墨、紙 30.4×45.7cm （公財）高橋記念美術文化振興財団
41 高橋 節郎 高原春色 制作年不詳 墨、水彩、紙 61.9×93.7cm	49 高橋 節郎 大和路遊行 制作年不詳 墨、紙 30.5×46.5cm （公財）高橋記念美術文化振興財団
42 高橋 節郎 明けゆく山湖 制作年不詳 墨、水彩、紙 45.4×46.2cm	50 高橋 節郎 大和路 1982年以前 墨、紙 28.5×44.0cm
43 高橋 節郎 雨上がる 制作年不詳 墨、水彩、紙	51 高橋 節郎 大和路 制作年不詳 墨、紙 27.0×44.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団

52 高橋 節郎 大和路 制作年不詳 墨、紙 31.5×43.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団	60 高橋 節郎 飾盆 櫻 1955-64年 漆絵 Φ27.4cm
53 高橋 節郎 大和路散策 制作年不詳 墨、紙 30.8×46.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団	61 高橋 節郎 地平線の見える静物 1965年 鍍金 37.0×44.0cm （公財）高橋記念美術文化振興財団
54 高橋 節郎 飾盆 カーネーション 1955-64年 漆絵 Φ27.4cm	62 高橋 節郎 ピアノ：宇宙紀行 1995年 鍍金、螺鈿 104.5×150.5×188.0cm
55 高橋 節郎 飾盆 牡丹 1955-64年 Φ27.4cm	63 高橋 節郎 童子神 1995年 木芯乾漆 322.0×146.0cm Φ60.0cm
56 高橋 節郎 飾盆 果物 1955-64年 漆絵 Φ27.4cm	
57 高橋 節郎 飾盆 百合 1955-64年 漆絵 Φ27.4cm	
58 高橋 節郎 飾盆 葡萄 制作年不詳 彩漆 Φ27.8cm （公財）高橋記念美術文化振興財団	
59 高橋 節郎 飾盆 風信子 1955-64年 漆絵 Φ27.4cm （公財）高橋記念美術文化振興財団	

ドイツとオーストリアの雑誌とデザイン
| 1890-1910

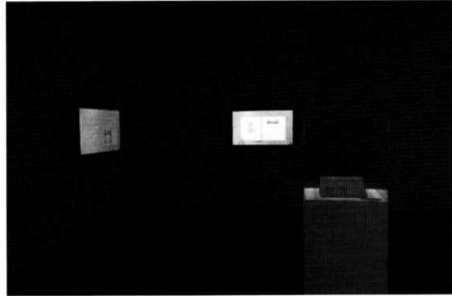
2014年7月12日〔土〕-9月15日〔月〕
59日間
展示室 4-5

20世紀がヴィジュアル雑誌の世紀だったとすれば、その起源は19世紀末のドイツとオーストリアに求めることができる。ベルリンの高踏的文学誌『パン』、ミュンヘンで数十万の発行部数を誇った大衆紙『ユーゲント』、そしてウィーン分離派の機関紙『ヴェル・サクルム』など、それぞれに性格を異にしつつも、当時飛躍的な技術の進歩をみた印刷術を駆使したグラフィックをはじめ、さまざまな工夫で読者をひきつけ、文学や芸術、そしてプロダクトデザインの世界へと読者を誘った。本展では新収蔵の『ヴェル・サクルム』をはじめとする当時の雑誌メディアと、雑誌をとおしてつながる美術やデザインの所蔵品をあわせて展示することで、メディアと造形芸術の展開をたどった。

観覧料:一般300円 [250円] / 高校・大学生200円 [150円]
[] 内は20名以上の団体料金 / 中学生以下無料 *市内高校生、障がい者、市内75才以上は無料 [要証明]
主催:豊田市美術館
出品点数:91点
観覧者数:11,590人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業:
| シンポジウム「アート（芸術／技）の坩堝―世紀転換期ドイツ語圏の芸術誌」
（科研費プロジェクト「ドイツ語圏の芸術誌の研究」 / ジャポニズム学会後援）
基調講演:
インゲボルク・ベッカー（ベルリンプレーハン美術館前館長）
パネラー:
池田祐子（京都国立近代美術館主任研究員）
井戸田総一郎（明治大学文学部教授）
高橋麻帆（田村書店）
西川智之（名古屋大学大学院国際言語研究科教授）
古田香織（名古屋大学大学院国際言語研究科准教授）
日時：8月2日〔土〕 午前10時15分-午後4時
会場：美術館講堂

| スライドレクチャー「クリムト再考」
「ウィーン分離派とクリムト―『ヴェル・サクルム』を中心に」
講師：西川智之（名古屋大学大学院国際言語研究科教授）
日時：7月21日〔月、祝〕午後2時-3時30分
会場：美術館講堂
「クリムト | 素描から完成作へ」
講師：前田朋美（名古屋芸術大学非常勤講師）
日時：8月23日〔土〕 午後2時-3時30分
会場：美術館講堂

印刷物:
チラシ: A4判
しおり: 短冊
グラフィックデザイン: 満田尚子

作品輸送・展示:
ヤマトロジスティクス株式会社
会場設営: 株式会社カトウスタチオ
学芸担当: 鈴木俊晴
庶務担当: 平尾祐未

08
ペーター・ペーレンス
花瓶
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1900年 (陶器および工芸陶磁器製造フランツ・アントン・メートム)

01
『パン』
1895-1900年
リトグラフ、銅版画、コロタイプ、書籍印刷など
36.6×28.6cm
京都国立近代美術館

02
エドヴァルト・ムンク
接吻
1895年
エッチング、ドライポイント、紙
32.8×26.3cm

03
エドヴァルト・ムンク
魅惑
1896年
リトグラフ、紙
47.2×35.8cm

04
アンリ・ヴァン・デ・ヴェルデ
ハービー理髪店のアームチェア
1901年
マホガニー、革
97.5×63.5×60.0cm

05
ペーター・ペーレンス
椅子
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1902年 (アントン・ブリュッゲル)
カシ、藤
99.6×44.5×45.8cm

06
ペーター・ペーレンス
花瓶
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年 (ストーンウェア製造所メルケルバッハ&ヴィック)
陶器
21.0cm、Φ19.8cm

07
ペーター・ペーレンス
花瓶
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1900年 (陶器および工芸陶磁器製造フランツ・アントン・メートム)
陶器
23.1cm、Φ11.0cm

08
ペーター・ペーレンス
花瓶
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1900年 (陶器および工芸陶磁器製造フランツ・アントン・メートム)

陶器
22.3cm、Φ10.5cm

09
ペーター・ペーレンス
花瓶
制作年不詳
陶器
8.5×18.8cm

10
ペーター・ペーレンス
ディナー・プレートとデザート・プレート
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1901年 (陶磁器製造所パウシャー兄弟商会)
磁器
2.2cm、Φ24.9cm、1.6cm、Φ16.2cm

11
ペーター・ペーレンス
ゴブレットグラス・セット
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1899年 (クリスタルガラス製造所ベネディクト・フォン・ボッシンガー)
ガラス
15.5cm、Φ8.0cm、10.9cm、Φ6.1cm、
20.7cm、Φ7.9cm、13.3cm、Φ7.3cm、
21.0cm、Φ9.6cm、9.8cm、Φ5.2cm、
13.6cm、Φ7.6cm、20.7cm、Φ7.9cm、
12.5cm、Φ7.1cm、17.9cm、Φ7.1cm

12
ペーター・ペーレンス
グラス
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1900-01年 (ライニクシエガラス工場株式会社)
ガラス
13.5cm、Φ7.6cm

13
ペーター・ペーレンス
ワイングラス
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1903年 (レジェンタール クリスタルガラス製造所 (推定))
ガラス
20.5cm、Φ6.8cm

14
ペーター・ペーレンス
グラス
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1902年 (クリスタルガラス製造所ベネディクト・フォン・ボッシンガー)
ガラス
13.3cm、Φ7.1cm

15
ペーター・ペーレンス
ドアノブ
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1901年 (リストマン&シュテルヴァーゲン)
真鍮
各32.8×7.5×15.5cm

16
ペーター・ペーレンス
スプーンとナイフ
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1902年 (ザクセン金属製品製造所アウグスト・ヴェルナー父子商会株式会社)
ホワイトメタル
スプーン21.5×5.0cm、スプーン20.0×4.9cm、
ナイフ25.5×2.0cm

17
ペーター・ペーレンス
ナイフとフォーク
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年頃 (銀製品製造所フランツ・バーナー株式会社)
銀

18
ペーター・ペーレンス
テーブル・スプーンとモカ・スプーン
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年 (銀製品製造所フランツ・バーナー株式会社)
銀
テーブルスプーン25.5×4.5cm、モカスプーン10.7×2.0cm

19
ペーター・ペーレンス
ナイフ、フォーク、スプーン
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年頃 (銀製品製造所フランツ・バーナー株式会社)
銀
ナイフ24.7×2.7cm、フォーク21.2×2.5cm、
スプーン21.7×4.5cm

20
ペーター・ペーレンス
コーヒー・スプーン
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1930年 (ドイツ工房、H.J.ヴィルム)
銀
13.5×3.0cm

21
ペーター・ペーレンス
コーヒー・サーヴィス
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年頃 (金属製品製造所ゲルハルディ&カンパニー)

錫
コーヒー・ポット25.5×17.3cm、Φ10.0cm、
ティー・ポット16.3×17.0cm、Φ9.2cm、ミ
ルク入れ10.6×11.2cm、Φ7.3cm、砂糖入
れ10.8×13.3cm、Φ8.4cm

22
ペーター・ペーレンス
コーヒー・サーヴィス
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年頃 (金属製品製造所エドゥアルト・ヒュック)
錫
コーヒー・ポット21.0×19.0cm、Φ11.0cm、
ミルク入れ10.5×9.0cm、Φ6.5cm、砂糖入
れ10.8×12.8cm、Φ9.0cm、砂糖入れ9.6×
10.3cm、Φ8.0cm

23
ペーター・ペーレンス
テーブルクロス
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1901年頃 (S. フレンケル (推定))
麻
172.0×138.0cm

24
ペーター・ペーレンス
床用タイル
デザイン年: 1904年頃 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年頃 (ヴィレロイ&ボッ
ホ)
つや消し加工、磁器
各16.9×16.9×2.1cm (6枚組)

25
ペーター・ペーレンス
壁用タイル
デザイン年: 不詳 (ペーター・ペーレンス)、
製作年: 1904年頃 (ヴィレロイ & ボッホ)
各14.6×14.6×1.1cm

26
ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『解放された人々』
装丁: 1897年 (ペーター・ペーレンス)、印刷
年: 1901年 (書籍印刷所フライホフ)、出版
年: 1901年 (S. フィッシャー出版社)
18.7×13.3×1.7cm

27
ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『蛙』
装丁: 1898年 (ペーター・ペーレンス)、印刷
年: 1901年 (書籍印刷所ロイツァッハ (旧
オットー・ノアック&カンパニー))、出版年:
1901年 (S. フィッシャー出版社)
19.0×12.7×0.6cm

28

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『緑の木の中のナイチンゲール』
装丁：1898年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1905年（書籍印刷所ロイツァッハ（旧
オットー・ノアック&カンパニー））、出版年：
1905年（S.フィッシャー出版社）
19.6×13.0×1.3cm

29

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『カワセミ』
タイトルページ、装飾：1903年（ペーター・
ペーレンス）、印刷年：1904年（W. ドルグ
リーン）、出版社：1904年（S. フィッシャー
出版社）
16.4×12.2×1.6cm

30

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・ユリウス・ビーアバウム著『カ
ラフルな鳥』
装飾：1898年（ペーター・ペーレンス）、印
刷年：1899年（オットー・フォン・ホルテン）、
出版年：1899年（シュースター & レッフラー）
21.9×18.7×1.9cm

31

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・ユリウス・ビーアバウム著『森
の中の牧神』
装飾：1899年（ペーター・ペーレンス）、
印刷年：1900年（W.ドルグリーン）、出版年：
1900年（シュースター & レッフラー）
18.4×12.1×0.5cm

32

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕ゲオルク・フックス著『ティル・オイレン
シュビーゲル』喜劇 第5幕
装丁：制作年不詳（ペーター・ペーレンス）、
印刷年：1898年（C.F.ウ ィンター書籍印刷
所）、出版年：1898年（オイゲン・ディーデリ
クス）
20.0×14.2×1.7cm

33

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕リヒャルト・デーメル著『リヒャルト・
デーメル選詩集』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1900年（ヘローゼ & ツィームゼン）、出
版年：1900年（シュースター & レッフラー）
14.0×10.8×1.7cm

34

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕J. P. ヤコブセン著『マリー・グルッペ
夫人』

装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1910年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.5×10.2×1.8cm

35

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『ローマの画家』
装丁：1897年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1898年（書籍印刷所フライホフ）、出版
年：1898年（S.フィッシャー出版社）
18.7×13.1×1.7cm

36

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『ローマの画家』
装丁：1897年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1900年（書籍印刷所フライホフ）、出版
年：1900年（S.フィッシャー出版社）
18.7×13.1×1.7cm

37

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『ちぎれたボタンの物語』
装丁：1897年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1898年（書籍印刷所フライホフ）、出版
年：1898年（S.フィッシャー出版社）
18.7×13.1×1.5cm

38

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『ちぎれたボタンの物語』
装丁：1897年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1905年（書籍印刷所フライホフ）、出版
年：1905年（S.フィッシャー出版社）
18.7×13.0×1.4cm

39

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『ちぎれたボタンの物語』
装丁：1897年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1912年（書籍印刷所フライホフ）、出版
年：1912年（S.フィッシャー出版社）
18.7×12.8×1.3cm

40

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕オットー・エーリヒ・ハルトレーベン著
『薔薇の月曜日』
装丁：1897年（ペーター・ペーレンス）、印刷
年：1900年（書籍印刷所フライホフ）、出版
年：1900年（S.フィッシャー出版社）
18.7×13.0×1.9cm

41

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕トーマス・ムルナー著『馬鹿の召集』

装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1900年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.2×9.8×1.5cm

42

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕ガブリエレ・ロイター著『死者の帰還』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1910年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.4×10.0×0.9cm

43

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕ハインリヒ・バンドロウ著『愉快なたわ
ごと』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1910年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.2×9.8×1.7cm

44

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕ハインリヒ・バンドロウ著『ケスター・
ヘンズ、ある小柄な男の物語』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1910年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.3×9.8×1.7cm

45

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕イマヌエル・カント著『実践理性批判』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1906年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.2×9.8×1.0cm

46

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕ギュンター・ブグゲ著『放射現象』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1910年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.3×9.8×0.9cm

47

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕『ドイツ帝国の土地登記簿通達』
装丁：1900年（ペーター・ペーレンス）、出版
年：1909年（フィリップ・レクラム・ジュニア）
14.3×9.8×0.7cm

48

ペーター・ペーレンス
〔書籍〕アントン・チェーホフ著『ワーニャおじ
さん』
装丁：制作年不詳（ペーター・ペーレンス）、
印刷年：1902年（パス & ガーレブ）、出版年：
1902年（ドクター・ジョン・エーデルハイム出
版社）
20.2×15.2×0.9cm

49

『ジンプリツィシムス』誌
1896-1944年

リトグラフ、書籍印刷
39.0×28.5cm
一橋大学附属図書館蔵

50

『ユージェント』誌
1896-1940年
リトグラフ、書籍印刷
30.7×23.0cm
一橋大学附属図書館蔵

51

『ヴェル・サクルム』（1898-99年の23冊）
1898-1899
印刷、紙
29.3×28.3cm

52

オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局内証券取引所のアームチェア
製作年：1912-13年頃（ゲブリュダー・トー
ネット社）
ブナ、ビロード
79.0×58.5×51.5cm

53

オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局会議室のアームチェア
製作年：1906年（ゲブリュダー・トーネット
社）
ブナ、ビロード、アルミニウム
77.8×56.3×56.0cm

54

オットー・ヴァーグナー
郵便貯金局大ホールの筆記机
製作：1904-06年頃（ゲブリュダー・トーネッ
ト社）
ブナ、アルミニウム
109.5×108.5×67.0cm

55

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
ハイバック・チェア
1899年
木、馬毛
137.5×48.0×41.5cm

56

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
アーガイル・ストリート・ティールームのハイ
バック・チェア
1898年
カシ、馬毛、闇
136.5×48.3×45.7cm

57

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
酒宴
1900年
水彩、鉛筆、トレーシングペーパー

32.9×69.3cm

58

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
第1葉 1階および2階の平面図
デザイン：1901年、出版：1902年（アレクサ
ンター・コッホ出版社）
リトグラフ、紙
40.4×54.6cm

59

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
第5葉 南東側の透視図
デザイン：1901年、出版：1902年（アレクサ
ンダー・コッホ出版社）
リトグラフ、紙
40.4×54.6cm

60

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
第8葉 応接間の窓の立面図
デザイン：1901年、出版：1902年（アレクサ
ンダー・コッホ出版社）
リトグラフ、紙
40.4×54.6cm

61

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
第14葉 ダイニングルームの透視図
デザイン：1901年、出版：1902年（アレクサ
ンダー・コッホ出版社）
リトグラフ、紙
40.4×54.6cm

62

チャールズ・レニー・マッキントッシュ
302 アーガイル
再製作：1997年（カッシーナ社）
トネリコ、馬毛
137.0×51.5×46.5cm

63

グスタフ・クリムト
オイゲニア・ブリマフェージの肖像
1913/14年
油彩、カンヴァス
140.0×85.0cm

64

グスタフ・クリムト
エルミース・ガリアの肖像の習作
1903/04年
鉛筆、紙
45.2×31.6cm

65

エゴン・シーレ
第49回分離派展のポスター
1918年
リトグラフ、紙
67.8×53.1cm

66

コロマン・モーザー
アームチェア
製作年：1903年頃（ブラハ=ルドニカー社）
ブナ、藤
71.3×67.3×65.7cm

67

コロマン・モーザー
椅子
デザイン年：1902/03年、製 造 年：1903年
（ブラハ=ルドニカー社）
カシ、闇
122.0×42.5×53.0cm

68

コロマン・モーザー
花瓶
製作：1898-99年頃（ロエツ工房）
銀、ガラス
31.5cm、Φ17.5cm

69

ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ
燭台
製造：1901年頃（金属製品製造所エドゥア
ルト・ヒュック）
白ろう
36.5×11.2×7.2cm

70

ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・ブルカースドルフの待合室の壁
面照明器具
製作年：1904-05年（ウィーン工房）
洋銀、ガラス
30.0×30.0×15.7cm

71

ヨーゼフ・ホフマン
リクライニングチェア（座るためのマシーン）
製作年：1905年頃（ヤーコブ ウント ヨーゼ
フ・コーン）
ブナ
112.0×64.0cm

72

ヨーゼフ・ホフマン
フラットウェア・サービス
製作年：1904年（ウィーン工房）
銀
デザート・ナイフ（2本）17.9×1.5cm、エス
カルゴ・フォーク19.2×1.7cm、テーブル・ナ
イフ21.5×1.7cm、テーブル・フォーク21.5×
2.0cm、スプー・レードル21.5×5.9cm、デ
ザート・フォーク17.9×1.6cm、コーヒー・ス
プーン14.0×3.0cm、ティースプーン12.8×
3.0cm

73

ヨーゼフ・ホフマン
エッグ・カップとスモール・スプーン
製作年：1903-04年（ウィーン工房）
銀
エッグカップ5.2cm、Φ4.7cm、スモールス
プーン14.0×2.2cm

74

ヨーゼフ・ホフマン
サナトリウム・ブルカースドルフの食堂の椅子
製作年：1904年（ヤーコブ ウント ヨーゼフ・
コーン）
ブナ、革
98.7×43.8×40.5cm

75

ウィーン工房
封筒
制作年不詳
紙に印刷
10.0×15.0cm

76

ウィーン工房
封筒
制作年不詳
紙に印刷、タイプおよび手書きの文字、切手、
消印
10.8×18.8cm

77

ウィーン工房
封筒
制作年不詳
紙に印刷
10.3×19.0cm

78

ウィーン工房
封筒
制作年不詳
紙に印刷、タイプ字、切手
10.3×19.0cm

79

ウィーン工房
封筒
制作年不詳
紙に印刷、タイプ字、切手、消印
12.5×15.7cm

80

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、タイプ字、切手、消印
10.2×18.4cm

81

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、手書きの文字、ウィーン工房のス
タンプ
27.0×17.5cm

82

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、タイプおよび手書きの文字、ウィー
ン工房のスタンプ
27.0×17.5cm

83

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、タイプおよび手書きの文字
27.0×17.5cm

84

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、タイプおよび手書きの文字、ウィー
ン工房のスタンプ
27.0×17.5cm

85

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、タイプおよび手書きの文字、ウィー
ン工房のスタンプ
27.0×17.5cm

86

ウィーン工房
便箋
制作年不詳
紙に印刷、タイプおよび手書きの文字、ウィー
ン工房のスタンプ
27.0×17.5cm

87

オスカー・ココシュカ
絵筆を持つ自画像
1914年
油彩、カンヴァス
82.3×66.0cm

88

オスカー・ココシュカ
夢見る少年たち
1908年（1917年クルト・ヴォルフ版）
リトグラフ、紙
8枚組

89

エゴン・シーレ
カール・グリュンヴァルトの肖像
1917年
油彩、カンヴァス
140.7×110.2cm

90

コロマン・モーザー
花入れ
製作：1904年（ウィーン工房）
銀、ガラス
21.6cm、Φ8.5cm

91

『ドイツの芸術と装飾』
1897-1932年
印刷・紙
40.6cm×28.0cm

夏休み子どものプログラム2014

「こじまひさや—あっち|こっち|どっち?」

2014年7月19日〔土〕～8月17日〔日〕
28日間
展示室 9

豊田市美術館では、学校の夏休み期間に、子どもたちとその家族を主な対象とした「夏休み子どものプログラム」を開催してきた。シリーズ3回目となる今回は、名古屋を拠点に活動を展開している作家・小島久弥（こじまひさや/ 1957年名古屋生まれ）を迎え、子どもの心踊る感覚や好奇心に揺さぶりをかける映像作品を軸にした展覧会を依頼した。

小島は1990年代より、夢と現実が変わるような状態、水や光が変化する瞬間など、様々な現象における“際/境界”を「クリティカルポイント（臨界点）」と呼び、テーマとして追求してきた作家である。本展のタイトル「あっち? こっち? どっち?」とは、まさに小島のこれまでの活動の本質を、子どもに向けてパラフレーズしたものといえるだろう。

今回の展覧会にむけて小島は、鉄道模型の線路を展示室内に敷設し、そこにカメラカー（模型汽車の先頭にカメラを搭載したもの）を走らせて撮影する映像作品の制作に取り組んだ。それは『銀河鉄道の夜』のごとく、子どもたち自身が汽車に乗って不思議な旅に出発するような、映像インсталレーションとして仕上げられた。自分が小人になって様々なオブジェの間に分け入るスリリングなカメラアングル、闇と光の効果、小気味よい規則的な線路音の反復をともなった作品は、子どもたちを大いに惹きつけるものとなった。

小島久弥が作り上げる、虚実皮膜にあるひとときの夢の世界を、子どもたちとその家族がともに楽しむことができる展覧会となった。

主催：豊田市美術館

共催：中日新聞社

協力：ババママハウス株式会社

観覧料：無料

出品点数：7点

観覧者数：6,768人



展示風景

関連事業：

■ワークショップ

「ミンナデツドウ・ミンナテツドウ Vol.2」

講師：小島久弥

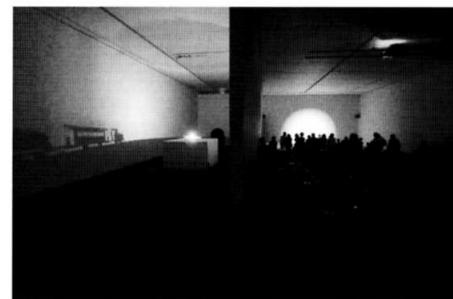
開催日：8月3日〔日〕

時間：午後2時～4時

対象：小学生（要予約：定員15名）



展示風景



展示風景

印刷物：

チラシ：A4版変形

小冊子：A4版18ページ

グラフィックデザイン：小島久弥

会場設営：株式会社カトウスタジオ

学芸担当：都筑正敏

庶務担当：橋本園美



チラシ

01

Train
2014年
ミクストメディア
作家蔵

02

Shadow train
2014年
鉄道模型、回転台、木製パネル、電球
作家蔵

03

I can tetsu do
2014年
建築模型、鉄道模型
作家蔵

04

Thanks mom！・自画自参シリーズ
ぼくらのプラネットホーム
1963-2014年
クレヨン、紙
91.0×182.0cm
作家蔵

05

Thanks mom！・自画自参シリーズ
Thanks mom！
1963-2007年
クレヨン、紙
127.0×91.0cm
作家蔵

06

Thanks mom！・自画自参シリーズ
花火花
1963-2007年
クレヨン、紙
91.0×127.0cm
作家蔵

07

Thanks mom！・自画自参シリーズ
月も見てた
1963-2009年
クレヨン、紙
50.0×104.0cm
作家蔵

荒木経惟 往生写集——顔・空景・道

2014年4月22日〔火〕–6月29日〔日〕

61日間

展示室 1-4、8

世代を超えて共感される写真を発表してきた荒木経惟（1940年-）は、デビュー作《さっちゃんとマー坊》（1963年）以降、出会った人の顔を写す写真を、数多く発表してきた。また、妻・陽子が入院していた病室の窓から、上空の雲を撮影したのを機に空の撮影を始め、撮り続けている。これら日常を写した荒木の「私写真」に共通するのは、写真という媒体の記録性を意識しつつも、モデルとなる人や物との距離を取り払い、愛と慈しみの視線や対象との親密なコミュニケーションの跡を一時の時間の結晶として作品に残そうとする姿勢である。

荒木は「人生は特別なものではなく、日々の出会いの積み重ねである」「しかし、人は様々な道を生きる」と語っている。日常を過ぎ行く一瞬を切り取る彼の私写真は、荒木にとって、人生に対する深甚な想いを託す媒体でもある。本展では、モノクロ、カラー写真等1,000点を通じて、日本を代表する写真家、荒木経惟の鋭敏で豊かな「生」の表現を紹介した。

観覧料：一般1,000円〔800円〕／高校・大学生800円〔600円〕／中学生以下無料

〔 〕内は前売券及び20名以上の団体料金／市内高校生、障がい者及び市内75歳以上は無料〔要証明〕

主催：豊田市美術館、テレビ朝日、メ〜テレ

共催：朝日新聞社

協力：一色事務所、写真弘社

メンバーシップ：トヨタ自動車㈱、㈱協豊製作所、大豊工業㈱、豊田鉄工㈱、トリニティ工業、㈱FTS、小島プレス工業㈱、豊田商工会議所、豊田信用金庫、あいち豊田農業協同組合、豊田国際交流協会

出品点数：1,000点

観覧者数：20,414人



展示風景

関連事業：

■ オープニングトーク

講師：荒木経惟（出品作家）

日時：4月26日〔土〕午後2時–3時

会場：展示室

■ 対談「寂聴とアラークーの往生漫談」

出演：瀬戸内寂聴（小説家、比叡山延暦寺禅光坊住職）、荒木経惟

司会：阿川佐和子（作家、エッセイスト）

日時：5月11日〔日〕午後1時–3時30分

1部ジャズコンサート 2部対談

会場：豊田市コンサートホール

■ 記録映像「対談 寂聴とアラークーの往生漫談」上映会

日時：6月8日〔日〕午後2時–3時30分

会場：美術館講堂

映像：撮影＝青木兼治／出演＝瀬戸内寂聴、荒木経惟、阿川佐和子

■ 映画上映会

「アラキメンタリ」（トラヴィス・クローゼ監督／荒木経惟出演 2005年 75分）

日時：5月4日（日）午後2時–3時30分



展示風景

会場：美術館講堂

「うつしみ」（園子温監督／荒木経惟出演 2000年 108分）

日時：5月4日〔日〕午後2時–3時30分

会場：美術館講堂

■ ワークショップ「往生写集アワード」

日時：展覧会期中いつでも

※「顔」「空景」「道」をテーマに、撮影データをインターネットで投稿してもらい、優秀作品をホームページで紹介

■ 学芸員によるスライド・レクチャー

日時：5月31日〔土〕午後3時–

会場：美術館講堂

■ 学芸員によるギャラリートーク

5月17日〔土〕、6月1日〔日〕、6月14日〔土〕

午後2時–

■ 作品ガイドボランティアによるギャラリートツアー

木曜日を除く午後2時–（土、日は午前11時–、午後2時–／関連事業開催日は午前11時–）



カタログ



展示風景

印刷物

ポスター：B1判、B2判

チラシ：A3判二つ折り

ギャラリーガイド：A3判二つ折り

カタログ：18.2×24.5cm / 336ページ

（発行：平凡社）

グラフィックデザイン：中島浩（広報物）

作品輸送・展示：

ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営：株式会社カトウスタジオ

学芸担当：北川智昭、北谷正雄

庶務担当：平尾祐未、阿部吉朗

01
荒木 経惟
さっちゃんとマー坊
1964年
モノクロームプリント
20点
59.0×49.0cm(14点)、49.0×59.0cm(6点)
作家蔵

02
荒木 経惟
さっちゃんとマー坊
1964年
カラープリント
10点
59.0×49.0cm(6点)、49.0×59.0cm(4点)
作家蔵

03
荒木 経惟
銀座
1965-67年
モノクロームプリント
248点
43.0×35.7cm(204点)、35.7×43.0cm(44点)
作家蔵

04
荒木 経惟
スクラップブック
1968-73年
写真、新聞紙、スクラップブック他
7冊
作家蔵

太郎君、次郎
36.0×28.0cm

ベルそな、浅草西の市
36.0×28.0cm

紀伊国屋の前で／陽子' 69
36.0×28.0cm

太子信仰
36.0×28.0cm

日常ということ／写真ということ
36.0×28.0cm

東京は秋だった／1-132
28.0×36.0cm

想い出の／イコンタ
36.0×28.0cm

05
荒木 経惟
荒木経惟写真帖
1970年

ゼロックス・コピー
5冊
作家蔵

6《素敵な新婚旅行》
16.7×26.0cm

15《万博》
26.0×18.0cm

21《散歩の時間》
13.0×36.5cm

12《残暑お見舞い》
25.5×36.0cm

25《夢のマイホーム》
26.0×18.5cm

06
荒木 経惟
地下鉄 '72
1972年
モノクロームプリント
99点
各13.0×18.0cm
作家蔵

07
荒木 経惟
センチメンタルな旅
1971年
モノクロームプリント
22点
41.0×34.0cm(1点)、34.0×41.0cm(21点)
豊田市美術館蔵

08
荒木 経惟
冬の旅
1989-1990年
モノクロームプリント
16点
各34.0×41.0cm
豊田市美術館蔵

09
荒木 経惟
東京は、秋
1972-73年
モノクロームプリント
12点
各105.0×132.0cm
作家蔵

10
荒木 経惟
空景
1989-90/2014年
カラープリント
40点

各46.0×56.0cm
作家蔵

11
荒木 経惟
空景
1990年
モノクロームプリント
6点
各58.0×73.5cm
作家蔵

12
荒木 経惟
高像
1978年
モノクロームプリント
18点
42.8×35.5cm(12点)、35.5×42.8cm(6点)
作家蔵

13
荒木 経惟
男の顔面
1998年
モノクロームプリント
25点
各59.8×90.0cm
作家蔵

14
荒木 経惟
富山の女性
2000年
モノクロームプリント
101点
各40.6×32.3cm
作家蔵

15
荒木 経惟
都市
1983-89年
モノクロームプリント
9点
各105.0×132.0cm
作家蔵

16
荒木 経惟
Aノ楽園
1999年
インクジェットプリント
12点
各61.0×76.0cm
作家蔵

17
荒木 経惟
Aの愛人
1984-2012年

28点
モノクロームプリント14点:60.0×90.0cm(7点)、90.0×60.0cm(7点)
カラープリント13点:61.0×76.0cm(7点)、61.0×76.0cm(6点)
作家蔵

18
荒木 経惟
愛のバルコニー (陽子)
1982年
モノクロームプリント
67.5×85.0cm
作家蔵 (協力: RATHOLEGALLERY)

19
荒木 経惟
Aノ楽園 (チロ)
1999年
カラープリント
180.7×230.9cm
作家蔵

20
荒木 経惟
道路
2013年
モノクロームプリント
43点
各153.0×113.0cm
作家蔵

21
荒木 経惟
センチメンタルな旅／春の旅
2010年
モノクロームプリント
80点
各34.0×41.0cm
作家蔵 (協力: RATHOLEGALLERY)

22
荒木 経惟
チロ愛死
2010年
カラープリント
4点
各46.7×58.5cm
作家蔵

23
荒木 経惟
母子像
2008年
モノクロームプリント
10点
各120.0×100.0cm
作家蔵

24
荒木 経惟
東京夏物語
2005年
インクジェットプリント
12点
15.2×1,130.0cm(12点を1枚にプリント)
作家蔵

25
荒木 経惟
センチメンタルな京都の夜
1972/2014年
デジタルプリント
82点
各13.0×18.0cm
作家蔵

26
荒木 経惟
遺作空2
2009年
墨、カラーペイント、コラージュ、モノクロームプリント
72点
各50.8×60.0cm
作家蔵 (協力: タカ・イシイギャラリー)

27
荒木 経惟
8月
2013年
モノクロームプリント
16点
各50.0×60.0cm
作家蔵

28
荒木 経惟
三千空
2012年
ビデオインスタレーション (2,485点のイメージを1編のビデオに編集)
作家蔵 (協力: RATHOLEGALLERY)

ジャン・フォートリエ

2014年7月20日〔日〕-9月15日〔月・祝〕

52日間

展示室 8

20世紀フランスを代表する画家の一人であるジャン・フォートリエの回顧展を開催した。1920年代の初期作品から、第二次世界大戦の戦時下にて描かれた《人質》の連作、そして戦後の抽象絵画と呼応し「アンフォルメル」運動の先駆けと評されることとなる晩年の作品群まで、立体や素描作品も漏らすことなく、作家の全貌を伝える展覧会とした。監修にはフォートリエの専門家であるジャン＝ポール・アムリーヌ氏、巡回は東京ステーションギャラリーと国立国際美術館だった。

観覧料：一般1,000円 [800円]／高校・大学生800円 [600円]／中学生以下無料／

[]内は前売券及び20名以上の団体料金／市内高校生、障がい者及び市内75歳以上は無料〔要証明〕

主催：豊田市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送

後援：在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本

協力：エールフランス航空

出品点数：116点

観覧者数：11,590人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業：

■ 連続講演会「フォートリエとはだれか!？」

「フォートリエをめぐるー《間の世界》に立つこと」

講師：堀江敏幸（作家／仏文学、早稲田大学教授）

日時：8月9日〔土〕 午後2時-3時30分

会場：美術館講堂

「層状絵画の不安ージャン・フォートリエについてー」

講師：林道郎（美術史／美術批評、上智大学教授）

日時：8月10日（日） 午後2時-3時30分

会場：美術館講堂

「フォートリエーアンフォルメルとその知的環境」

講師：芳賀徹（比較文学、静岡県立美術館館長）

日時：8月16日〔土〕 午後2時-3時30分

会場：美術館講堂

■ ジャズ・コンサート

ピアニスト：後藤浩二

日時：8月24日〔土〕 午後2時-3時30分

会場：美術館講堂

■ 作品ガイドボランティアによるギャラリートツアー

木曜日を除く午後2時-

土、日、祝日は午前11時-、午後2時-

イベント開催日は午前11時-

印刷物：

ポスター：B1、B2、B3

チラシ：A4（4種）

子ども向けチラシ：A4変形

作品リスト：A3二つ折り

グラフィックデザイン：藤本組

作品輸送・展示：

ヤマトロジスティクス株式会社

会場設営：株式会社カトウスタデオ

学芸担当：鈴木俊晴、能勢陽子

庶務担当：平尾祐未

01

ジャン・フォートリエ

管理人の肖像

1922年

油彩、カンヴァス

80.0×60.0cm

トゥルコワン、ウジェーヌ・ルロワ美術館蔵

02

ジャン・フォートリエ

エドゥアール氏の肖像習作

1923年

油彩、カンヴァス

41.0×33.0cm

個人蔵

03

ジャン・フォートリエ

エドゥアール夫人の肖像習作

1923年

油彩、カンヴァス

61.0×50.0cm

個人蔵

04

ジャン・フォートリエ

娼家の裸婦

1924年

油彩、カンヴァス

81.0×65.0cm

個人蔵

05

ジャン・フォートリエ

イル・ド・フランスの風景

1924年

油彩、カンバス（板に貼りつけ）

33.2×41.2cm

ソー美術館、オー＝ド＝セーヌ県蔵

06

ジャン・フォートリエ

静物

1925年

油彩、カンヴァス

86.5×116.0cm

個人蔵

07

ジャン・フォートリエ

玉葱とナイフ

1926年

油彩、カンヴァス

61.0×59.0cm

ミヒャエル・ハース画廊蔵

08

ジャン・フォートリエ

エシャロット

1925年

油彩、カンヴァス

27.0×35.0cm

個人蔵

09

ジャン・フォートリエ

愚か者（エルネスト＝シャルル・ピカールの肖像）

1925年

油彩、カンヴァス

100.0×73.0cm

個人蔵

10

ジャン・フォートリエ

森の中の男

1925年

油彩、カンヴァス

92.0×73.0cm

バスカル・ランズベルク画廊蔵

11

ジャン・フォートリエ

農夫コンパンの肖像

1925年

油彩、カンヴァス

46.0×38.0cm

個人蔵

12

ジャン・フォートリエ

ルネの肖像

1925年

油彩、カンヴァス

35.0×27.0cm

個人蔵

13

ジャン・フォートリエ

セットの幼い娘

1925年

油彩、カンヴァス

73.0×60.0cm

個人蔵

14

ジャン・フォートリエ

ジャンヌ・カステルの肖像

1925年

油彩、カンヴァス

41.0×33.0cm

個人蔵

15

ジャン・フォートリエ

タバコの男（マルセル・カステルの肖像）

1926年

油彩、カンヴァス

41.0×33.0cm

個人蔵

16

ジャン・フォートリエ

体を洗う裸婦

1925年頃

油彩、カンヴァス

56.0×45.0cm

プレジダンス画廊蔵

17

ジャン・フォートリエ

後ろ姿の裸婦

1925年頃

油彩、カンヴァス

41.0×33.0cm

個人蔵

18

ジャン・フォートリエ

脱衣の女

1925年

油彩、カンヴァス

46.0×38.0cm

個人蔵

19

ジャン・フォートリエ

左を向いて立つ裸婦

1924年頃

サンギーヌ、紙

102.2×66.0cm

個人蔵

20

ジャン・フォートリエ

後ろ姿の裸婦

1924年頃

サンギーヌ、紙

70.0×46.5cm

個人蔵

21

ジャン・フォートリエ

ピクニック

1924年

リトグラフ、紙

41.0×57.0cm

個人蔵

22

ジャン・フォートリエ

黒い裸婦（裸婦の小習作）

1926年

油彩、カンヴァス

35.0×27.0cm

個人蔵

23

ジャン・フォートリエ

黒い裸婦（小）

1926年

油彩、カンヴァス

35.0×27.0cm

ハース画廊蔵

24

ジャン・フォートリエ

左手を腰にあてて後ろを向く裸婦

1926年

油彩、カンヴァス

115.0×73.0cm

個人蔵

25

ジャン・フォートリエ

前を向いて立つ裸婦

1927年

油彩、カンヴァス

92.0×65.0cm

個人蔵

26

ジャン・フォートリエ

美しい娘（灰色の裸婦）

1926-27年

油彩、カンヴァス

92.0×60.0cm

パリ市立近代美術館蔵

27

ジャン・フォートリエ

青灰色の裸婦

1927-28年

油彩、カンヴァス

116.0×73.0cm

ミヒャエル・ハース画廊蔵

28

ジャン・フォートリエ

黒人女性の頭部

1926年

油彩、カンヴァス

41.5×33.0cm

ミヒャエル・ハース画廊蔵

29

ジャン・フォートリエ

黒い頭部

1926年

油彩、カンヴァス

35.0×27.0cm

プレジダンス画廊蔵

30

ジャン・フォートリエ

女の頭部

1926-27年

油彩、カンヴァス

35.0×27.0cm

プレジダンス画廊蔵

31 ジャン・フォートリエ 横向きの頭部 1926年 油彩、カンヴァス 35.0×27.0cm ハース画廊蔵	81.0×65.5cm 個人蔵
32 ジャン・フォートリエ マリエット 1929年 油彩、カンヴァス 27.0×27.0cm パリ市立近代美術館蔵	39 ジャン・フォートリエ 花 1928年頃 油彩、カンヴァス 65.0×54.0cm 個人蔵
33 ジャン・フォートリエ 鯛 1926-27年 油彩、カンヴァス 60.0×73.0cm 個人蔵	40 ジャン・フォートリエ 鍋に活けた花 1928年頃 油彩、カンヴァス 73.0×92.0cm 個人蔵
34 ジャン・フォートリエ 羊の頭部 1927年 油彩、カンヴァス 60.0×73.0cm 個人蔵	41 ジャン・フォートリエ 化粧（体を拭く裸婦 II） 1926年 グワッシュ、パステル、紙 38.5×28.5cm 個人蔵
35 ジャン・フォートリエ 兎の皮 1927年 油彩、カンヴァス 130.0×97.0cm 個人蔵	42 ジャン・フォートリエ 裸婦 1926年頃 石墨、紙 53.8×37.8cm 個人蔵
36 ジャン・フォートリエ 魚と皿のある静物 1927年頃 油彩、カンヴァス 81.0×100.0cm ミハエル・ハース画廊蔵	43 ジャン・フォートリエ 頭を左に傾けて前を向く裸婦 1926年 石墨、紙 44.3×28.0cm 個人蔵
37 ジャン・フォートリエ グラスに活けた枝 1926年 油彩、カンヴァス 33.0×41.0cm ミハエル・ハース画廊蔵	44 ジャン・フォートリエ 後ろ姿の裸婦 1928-29年頃 パステル、紙 44.0×28.0cm 個人蔵
38 ジャン・フォートリエ 黒い花 1926年頃 油彩、カンヴァス	45 ジャン・フォートリエ 腕を垂らし前を向く裸婦 1929年頃 パステル、サンギーンヌ、紙 44.0×28.0cm 個人蔵

46 ジャン・フォートリエ 後ろ姿の裸婦 1930年頃 石墨、紙 38.0×30.0cm 個人蔵	19.0×16.0×18.0cm 三条祇園画廊蔵
54 ジャン・フォートリエ 果物のある静物 1938年 油彩、デトランプ、塗料、紙（厚紙で裏打ち） 35.0×42.0cm 個人蔵	55 ジャン・フォートリエ 飾り皿の梨 1938年 ミクストメディア、紙（板に貼りつけ） 60.5×92.0cm 個人蔵
48 ジャン・フォートリエ 頭を右に向ける裸婦 1930年頃 石墨、紙 48.0×28.0cm 個人蔵	56 ジャン・フォートリエ 梨と葡萄のある静物 1938年 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 65.0×92.0cm 個人蔵
49 ジャン・フォートリエ 前を向く若々しい裸婦 1930年頃 石墨、紙 44.0×28.0cm 個人蔵	57 ジャン・フォートリエ 林檎 1940-41年 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 81.0×116.0cm 個人蔵
50 ジャン・フォートリエ トルソ 1928年 ブロンズ 65.0×30.0×22.0cm 兵庫県立美術館蔵	58 ジャン・フォートリエ 醸造用の林檎 1943年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 65.0×92.0cm ガンデュール美術財団蔵
51 ジャン・フォートリエ 胸像 1929年 ブロンズ 39.5×21.0×22.5cm パリ国立近代美術館蔵	59 ジャン・フォートリエ 無題 1943年頃 油彩、紙（板に貼りつけ） 27.0×35.0cm 個人蔵
52 ジャン・フォートリエ 女性胸像 1934年 グワッシュ、紙 48.0×27.0cm 個人蔵	60 ジャン・フォートリエ 果物 1943年頃 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 38.0×47.0cm ソー美術館、オー＝ド＝セーヌ県蔵
53 ジャン・フォートリエ 頭部（驚く若い娘） 1940年 ブロンズ	

61 ジャン・フォートリエ 三つの梨 1942年頃 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 27.0×35.0cm 個人蔵	64.0×54.0cm 国立国際美術館蔵
62 ジャン・フォートリエ 悲劇的な頭部（大） 1942年 ブロンズ 34.8×17.2×21.1cm パリ国立近代美術館蔵	69 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 No.23 1944-45年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 27.0×22.0cm 個人蔵
63 ジャン・フォートリエ 銃殺された男 1943-45年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 38.0×46.0cm 個人蔵	70 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 No.21 1944-45年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 35.0×27.0cm パリ国立近代美術館蔵
64 ジャン・フォートリエ 人質 No.3 1943-45年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 35.0×27.0cm ソー美術館、オー＝ド＝セーヌ県蔵	71 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 No.13 1943-45年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 27.0×22.0cm 個人蔵
65 ジャン・フォートリエ 人質 1943年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 27.0×22.5cm ソー美術館、オー＝ド＝セーヌ県蔵	72 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 1945年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 34.2×26.4cm 石橋財団ブリヂストン美術館蔵
66 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 No.8 1944-45年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 35.0×27.0cm 個人蔵	73 ジャン・フォートリエ 人質たちの習作 1942年（クチュリエ版（1962-64年）） エッチング、紙 29.8×28.3cm 兵庫県立美術館蔵
67 ジャン・フォートリエ 人質（人質の頭部 No.9） 1944年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 73.0×60.0cm 大原美術館蔵	74 ジャン・フォートリエ 銃殺された人々 1943年（クチュリエ版（1962-64年）） エッチング、紙 33.7×26.8cm 兵庫県立美術館蔵
68 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 1944年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち）	75 ジャン・フォートリエ 人質 I-B 1943年（クチュリエ版（1962-64年）） エッチング、紙 27.3×23.7cm 兵庫県立美術館蔵

76 ジャン・フォートリエ 黒の上の人質たち 1944年（クチュリエ版（1962-64年）） エッチング、紙 23.4×32.0cm 兵庫県立美術館蔵	60.0×81.0cm 個人蔵
77 ジャン・フォートリエ 虐殺された人々 1944年（クチュリエ版（1962-64年）） エッチング、紙 29.0×23.2cm 兵庫県立美術館蔵	84 ジャン・フォートリエ 種子のある果物 1948年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 38.0×46.0cm 個人蔵
78 ジャン・フォートリエ 手のある人質 I 1944年（クチュリエ版（1962-64年）） カラーエッチング、紙 20.5×29.5cm 兵庫県立美術館蔵	85 ジャン・フォートリエ 鍵 1949年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 33.0×46.0cm パリ市立近代美術館蔵
79 ジャン・フォートリエ 手のある人質 II 1944年（クチュリエ版（1962-64年）） カラーエッチング、紙 20.5×27.0cm 兵庫県立美術館蔵	86 ジャン・フォートリエ 籠 1950年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 54.0×73.0cm トレイユ財団蔵
80 ジャン・フォートリエ 人質の頭部 1943年 鉛 48.0cm ソー美術館、オー＝ド＝セーヌ県蔵	87 ジャン・フォートリエ 筒型のオブジェ 1954年頃 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 22.5×35.5cm ソー美術館、オー＝ド＝セーヌ県蔵
81 ジャン・フォートリエ 果物 1947年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 54.0×65.0cm 個人蔵	88 ジャン・フォートリエ 空のグラス 1955年 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 27.0×35.0cm 個人蔵
82 ジャン・フォートリエ コーヒー挽き 1947年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち） 45.0×54.0cm 個人蔵	89 ジャン・フォートリエ ふとっちょ 1955年頃 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 46.0×55.0cm 個人蔵
83 ジャン・フォートリエ 糸巻き 1947年 油彩、顔料、紙（カンヴァスで裏打ち）	90 ジャン・フォートリエ ごちよこちょ 1956年頃 油彩、紙（カンヴァスで裏打ち） 50.0×61.0cm 個人蔵

91
ジャン・フォートリエ
青の上の裸婦
1955年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、アクアチント、淡彩、紙
54.0×47.5cm
兵庫県立美術館蔵

92
ジャン・フォートリエ
無題
1956年
グワッシュ、石膏、紙（カンヴァスで裏打ち）
50.0×65.0cm
横浜美術館蔵

93
ジャン・フォートリエ
オール・アローン
1957年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
89.0×146.0cm
個人蔵

94
ジャン・フォートリエ
永遠の幸福
1958年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
89.4×146.0cm
大阪新美術館建設準備室蔵

95
ジャン・フォートリエ
鶴鶴
1942年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、アクアチント、紙
11.5×13.5cm
兵庫県立美術館蔵

96
ジャン・フォートリエ
夜の中の女
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、アクアチント、紙
54.0×84.0cm
兵庫県立美術館蔵

97
ジャン・フォートリエ
少女
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、アクアチント、紙
15.0×18.0cm
兵庫県立美術館蔵

98
ジャン・フォートリエ
紫の小さなトルソ
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、アクアチント、紙

13.5×13.0cm
兵庫県立美術館蔵

99
ジャン・フォートリエ
ベイビー・マイン
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、アクアチント、紙
27.5×33.5cm
兵庫県立美術館蔵

100
ジャン・フォートリエ
ふとっちょ
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、アクアチント、紙
14.0×13.0cm
兵庫県立美術館蔵

101
ジャン・フォートリエ
女のトルソ（小）
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、アクアチント、紙
31.5×25.0cm
兵庫県立美術館蔵

102
ジャン・フォートリエ
はだけた胸
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、紙
26.5×21.0cm
兵庫県立美術館蔵

103
ジャン・フォートリエ
トルソ
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、紙
27.0×21.0cm
兵庫県立美術館蔵

104
ジャン・フォートリエ
女のトルソ（大）
1947年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、アクアチント、紙
42.0×30.5cm
兵庫県立美術館蔵

105
ジャン・フォートリエ
女の誕生
1948年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、エナメル、紙
54.5×78.5cm
兵庫県立美術館蔵

106
ジャン・フォートリエ
罌
1948年（クチュリエ版（1962-64年））
エッチング、紙
21.5×34.0cm
兵庫県立美術館蔵

107
ジャン・フォートリエ
スイート・ベイビー
1949年（クチュリエ版（1962-64年））
カラーエッチング、紙
19.5×23.5cm
兵庫県立美術館蔵

108
ジャン・フォートリエ
裸体
1956年
石墨、紙
28.0×35.7cm
個人蔵

109
ジャン・フォートリエ
作品
1959年
水彩、パステル、紙
59.5×64.5cm
個人蔵

110
ジャン・フォートリエ
黒の青
1959年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
81.0×130.0cm
個人蔵

111
ジャン・フォートリエ
雨
1959年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
80.8×129.7cm
大原美術館蔵

112
ジャン・フォートリエ
無題（四辺画）
1958年
油彩／デトランプ、紙（カンヴァスで裏打ち）
73.1×92.2cm
北九州市立美術館蔵

113
ジャン・フォートリエ
小さな心臓
1962年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）

81.0×116.0cm
個人蔵

114
ジャン・フォートリエ
干涉
1963年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
59.5×80.0cm
原美術館蔵

115
ジャン・フォートリエ
草
1963年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
46.0×65.0cm
個人蔵

116
ジャン・フォートリエ
植物
1963年
油彩、紙（カンヴァスで裏打ち）
89.0×130.0cm
玉川大学蔵

生誕百年 高橋節郎展

2014年7月12日〔土〕－9月15日〔月・祝〕

66日間

高橋節郎館

高橋節郎（1914－2007）は、生涯を通じて新たな表現に挑み続けた。高橋は「漆芸の可能性を求めてわが道をゆく」の言葉のごとく、戦前には色漆による鮮やかな作品で知られ、戦後には抽象的な表現や実験的な試みを経て、艶やかな漆黒と鎗金が織りなす、力強くも幻想的な独自の作品世界を築き上げた。漆芸の新たな地平を開拓したとして、高橋の活動の軌跡は高い評価を受けている。また高橋は多忙な作品制作の傍ら母校・東京藝術大学で教鞭をとり、現代工芸美術家協会等の美術団体においても多くの後進を育てた。これらの功により、1997年には文化勲章を受章する。生誕百年を記念して、安曇野高橋節郎記念美術館、安曇野市豊科近代美術館、長野県信濃美術館と協同で開催した本展では、代表作を展観するとともに、墨彩画や漆版画、アトリエに残された未発表ドローイング等も紹介し、高橋芸術の全貌を振り返った。会期中一部展示替を行った。

観覧料：一般300円〔250円〕／高校・大学生200円〔150円〕／中学生以下無料

〔 〕内は20名以上の団体料金／市内高校生、障がい者、市内75才以上は無料〔要証明〕

主催：豊田市美術館、生誕百年高橋節郎展実行委員会

共催：中日新聞社

後援：（公財）高橋記念美術文化振興財団

出品点数：106点

観覧者数：8,750人



展示風景



展示風景



展示風景

関連事業：

Ⅰ 記念講演会

「高橋節郎一人と作品―」

講師：横山勝彦（金沢美術工芸大学大学院教授）

日時：7月13日〔日〕 午後2時－3時30分

会場：美術館 講堂

「高橋先生の芸術力」

講師：三田村有純（東京藝術大学教授）

日時：8月30日〔土〕 午後2時－3時30分

会場：美術館 講堂

Ⅱ 学芸員によるギャラリートーク

7月24日〔木〕、8月14日〔木〕、9月4日〔木〕

午後2時より



ポスター

印刷物：
ポスター：B2判
チラシ：A4判
チケッitchラシ：6.2×17.0cm
ギャラリーガイド：A3判二つ折り
グラフィックデザイン：ヨゴデザインスタジオ
作品展示：日本通運株式会社
会場設営：株式会社カトウスタチオ
学芸担当：西崎紀衣、成瀬美幸
庶務担当：端浦雅人、橋本園美

01
高橋 節郎
日日草紋衣裳箱
1938年
彩研出蒔絵
45.5×69.5×14.5cm
寄託作品

02
高橋 節郎
ひなげしの図小屏風
1940年
彩研出蒔絵
67.0×182.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

03
高橋 節郎
紅梅白梅漆手筥
1944年
蒔絵
13.5×38.0×29.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

04
高橋 節郎
羽紋陶胎漆器
1948年
陶胎漆器
22.0cm、Φ25.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

05
高橋 節郎
花の星座
1949年
彩研出蒔絵、アルミニウム合金板
41.9×110.4cm
豊田市美術館蔵

06
高橋 節郎
角力
1951年
モノタイプ(版画)、漆、紙
30.0×25.5cm
豊田市美術館蔵

07
高橋 節郎
海辺の静物
1952年
鎗金
45.5×37.5cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

08
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス カーマインレッド 1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄

2.8×13.9×11.6cm
豊田市美術館蔵

09
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス マルーン 1
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.2×13.9×11.6cm
豊田市美術館蔵

10
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス アイボリーブラック
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.2×11.8cm
豊田市美術館蔵

11
高橋 節郎
ゴールデンデリシャス エメラルドグリーン
1953年
銅箔、化学塗料、鉄
1.3×14.1×11.8cm
豊田市美術館蔵

12
高橋 節郎
ラッキープレート クリーム
1953年
化学塗料、鉄
1.1×12.5×10.3cm
豊田市美術館蔵

13
高橋 節郎
ラッキープレート パープル
1953年
化学塗料、鉄
1.0×12.6×10.3cm
豊田市美術館蔵

14
高橋 節郎
ラッキープレート グレー
1953年
化学塗料、鉄
1.2×12.5×10.3cm
豊田市美術館蔵

15
高橋 節郎
ラッキープレート ブルー
1953年
化学塗料、鉄
1.3×12.4×10.4cm
豊田市美術館蔵

16
高橋 節郎
ラッキープレート グリーン
1953年
化学塗料、鉄
1.4×12.4×10.4cm
豊田市美術館蔵

17
高橋 節郎
ラッキープレート ピンク
1953年
化学塗料、鉄
1.3×12.4×10.4cm
豊田市美術館蔵

18
高橋 節郎
キャンディープレート カーマインレッド
1953年
化学塗料、鉄
1.4×11.8×14.2cm
豊田市美術館蔵

19
高橋 節郎
キャンディープレート エメラルドグリーン
1953年
化学塗料、鉄
6.0×7.8×9.0cm
豊田市美術館蔵

20
高橋 節郎
灰皿: シルクハット バイオレット
1953年
化学塗料、鉄
7.6×12.3×10.5cm
豊田市美術館蔵

21
高橋 節郎
灰皿: シルクハット レモン
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.6cm
豊田市美術館蔵

22
高橋 節郎
灰皿: シルクハット レッド
1953年
化学塗料、鉄
7.3×12.4×10.2cm
豊田市美術館蔵

23
高橋 節郎
踊り
1954年
鎗金、螺鈿、アルミニウム合金板

121.5×84.8cm
豊田市美術館蔵

24
高橋 節郎
街角
1955-64年
彩漆絵
Φ27.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

25
高橋 節郎
酒場
1955-64年
彩漆絵
Φ27.2cm
豊田市美術館蔵

26
高橋 節郎
鏡 A
1955-64年
彩漆絵
Φ27.3cm
豊田市美術館蔵

27
高橋 節郎
鏡 B
1955-64年
彩漆絵
Φ27.1cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

28
高橋 節郎
赤い絨毯
1955年
鎗金
72.8×60.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

29
高橋 節郎
都会の歌
1955年
鎗金、螺鈿
127.0×212.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館寄託

30
高橋 節郎
都会にだって「みのり」はある
1956年
鎗金
123.0×250.0cm
日本芸術院蔵

31
高橋 節郎
広間に置く棚『作品58』
1958年
堆朱絵、箔押
75.0×125.5×50.0cm
豊田市美術館蔵

32
高橋 節郎
二人
1958年
モノタイプ(版画)、漆、紙
41.5×32.0cm
豊田市美術館蔵

33
高橋 節郎
杉の木の寓話
1959年
鎗金、螺鈿、堆朱
121.4×243.2cm
豊田市美術館蔵

34
高橋 節郎
蟹気楼
1960年
鎗金、彩錆絵、螺鈿
197.5×182.0cm
豊田市美術館蔵

35
高橋 節郎
断層 A
1961年
モノタイプ(版画)、漆、紙
82.3×56.0cm
豊田市美術館蔵

36
高橋 節郎
蟹気楼「空中都市」
1961年
朱叩き塗、鎗金
187.8×181.6cm
豊田市美術館蔵

37
高橋 節郎
夜の猫
1963年
エッチング、紙
14.5×14.5cm
豊田市美術館蔵

38
高橋 節郎
化石
1963年
彩錆絵

180.0×150.0cm
豊田市美術館蔵

39
高橋 節郎
坤 A
1963年
モノタイプ(版画)、漆、紙
82.5×55.7cm
豊田市美術館蔵

40
高橋 節郎
洞 1
1963年
モノタイプ(版画)、漆、紙
82.6×55.8cm
豊田市美術館蔵

41
高橋 節郎
森の小径
1964年
エッチング、紙
20.5×13.5cm
豊田市美術館蔵

42
高橋 節郎
化石譜
1964年
鎗金
180.0×180.0cm
日本芸術院蔵

43
高橋 節郎
化石帯
1968年
鎗金、彩錆絵
116.0×90.0cm
東京都現代美術館蔵

44
高橋 節郎
海層
1970年
鎗金、彩錆絵
115.0×90.0cm
豊田市美術館蔵

45
高橋 節郎
悠久の記
1971年
鎗金、彩錆絵
182.0×182.4cm
豊田市美術館蔵

46
高橋 節郎
紋
1972年
鎗金、彩錆絵
121.0×90.8cm
豊田市美術館蔵

47
高橋 節郎
速い記録
1973年
鎗金、螺鈿
120.9×98.0cm
豊田市美術館蔵

48
高橋 節郎
触
1975年
モノタイプ(版画)、漆、紙
55.8×82.6cm
豊田市美術館蔵

49
高橋 節郎
惜日譜
1975年
鎗金
116.6×98.8cm
東京藝術大学蔵

50
高橋 節郎
星座創記
1975年
鎗金
175.9×173.0cm
豊田市美術館蔵

51
高橋 節郎
標
1978年
鎗金、螺鈿
121.3×85.0cm
豊田市美術館蔵

52
高橋 節郎
丘陵好日
1982年
鎗金
110.0×150.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

53
高橋 節郎
アルプスの見える街
1984年
墨、水彩、紙

95.2×63.8cm
豊田市美術館蔵

54
高橋 節郎
陽春賦
1985年
鎗金、螺鈿
90.0×114.5cm
東京国立近代美術館蔵

55
高橋 節郎
風光讃歌
1986年
鎗金、螺鈿
126.0×91.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

56
高橋 節郎
星座無限
1987年
鎗金、螺鈿
124.0×148.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

57
高橋 節郎
星座煌煌
1988年
鎗金、螺鈿
176.0×173.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

58
高橋 節郎
乾漆壺 1
1989年
乾漆
91.7cm、Φ12.2cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

59
高橋 節郎
乾漆壺 11
1989年
乾漆
50.8cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

60
高橋 節郎
乾漆壺 14
1989年
乾漆
51.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

61
高橋 節郎
乾漆壺 20
1989年
乾漆
40.6cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

62
高橋 節郎
日岡月岡
1989年
鎗金、螺鈿
176.5×173.0cm
東京国立近代美術館蔵

63
高橋 節郎
澄高
1990年
鎗金、螺鈿
176.0×173.0cm
東京藝術大学蔵

64
高橋 節郎
万化
1991年
鎗金、螺鈿、堆朱
95.7×116.7cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

65
高橋 節郎
暁彩
1992年
墨、水彩、紙
45.0×90.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

66
高橋 節郎
満天星花
1992年
鎗金、蒔絵、螺鈿
176.0×173.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

67
高橋 節郎
地久大恵 2
1993年
木芯乾漆
30.5×13.0×47.5cm
豊田市美術館蔵

68
高橋 節郎
地久大恵 5
1993年
木芯乾漆

50.5×10.5×21.0cm
豊田市美術館蔵

69
高橋 節郎
地久大恵 15
1993年
木芯乾漆
24.5×8.0×24.5cm
豊田市美術館蔵

70
高橋 節郎
四季抄
1993年
鎗金
117.0×91.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

71
高橋 節郎
星座物語
1994年
鎗金
176.0×173.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

72
高橋 節郎
森神
1995年
木芯乾漆
56.0×78.0×12.0cm
豊田市美術館蔵

73
高橋 節郎
ピアノ：宇宙紀行
1995年
鎗金、螺鈿
104.5×150.5×188.0cm
豊田市美術館蔵

74
高橋 節郎
夢・まほろばの星座
1997年
鎗金、箔押、螺鈿、堆朱
181.0×90.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

75
高橋 節郎
神々の山
1999年
木芯乾漆
77.0×38.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

76
高橋 節郎
ハーブ：銀河響奏
1999年
金箔、プラチナ箔みだれ押し
186.5×56.5×102.0cm
(公財)高橋記念美術文化振興財団蔵

77
高橋 節郎
地中物語
2000年
鎗金
146.0×112.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

78
高橋 節郎
四季物語
2001年
鎗金
146.0×112.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

79
高橋 節郎
森曹
2002年
鎗金、螺鈿
138.8×112.8cm
東京国立近代美術館蔵

80
高橋 節郎
大樹の詩
制作年不詳
モノタイプ（版画）、漆、紙
42.0×33.0cm
豊田市美術館蔵

81
高橋 節郎
花火（幼少の作品）
1925年
水彩、紙
20.0×28.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

82
高橋 節郎
自画像
1930年代
墨、鉛筆、紙
30.4×22.4cm
個人蔵

83
高橋 節郎
デッサン（東京美術学校入学前の習作）
1932年
水彩、鉛筆、紙

58.0×38.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

84
高橋 節郎
デッサン（東京美術学校入学前の習作）
1932年
水彩、鉛筆、紙
58.0×38.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

85
高橋 節郎
色彩構成（東京美術学校入学前の習作）
1932年
水彩、鉛筆、紙
58.0×38.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

86
高橋 節郎
色彩構成（東京美術学校入学前の習作）
1932年
水彩、鉛筆、紙
38.0×58.0cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

87
高橋 節郎
仮題（トルソ）
1955年
墨、水彩、紙
34.0×45.0cm
個人蔵

88
高橋 節郎
仮題（街と花火）
1955年
墨、水彩、紙
34.0×45.0cm
個人蔵

89
高橋 節郎
アサガオ
1963年
水彩、紙
27.0×38.0cm
個人蔵

90
高橋 節郎
山うど
1992年
水彩、鉛筆、紙
39.8×54.8cm
個人蔵

91
高橋 節郎
デザイン（レインボー灰皿）
制作年不詳
水彩、紙
27.2×38.5cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

92
高橋 節郎
デザイン（ラッキーセット）
制作年不詳
水彩、紙
27.2×38.5cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

93
高橋 節郎
デザイン（灰皿）
制作年不詳
水彩、紙
27.2×38.5cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

94
高橋 節郎
デザイン（傘の柄）
制作年不詳
水彩、紙
27.2×38.5cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

95
高橋 節郎
デザイン
制作年不詳
水彩、紙
27.2×38.5cm
安曇野高橋節郎記念美術館蔵

96
高橋 節郎
コラージュ
制作年不詳
フィルム、英字新聞、紐、紙
37.4×26.0cm
個人蔵

97
高橋 節郎
コラージュ
制作年不詳
フィルム、紙
36.0×27.2cm
個人蔵

98
高橋 節郎
仮題（星夜）
制作年不詳
墨、水彩、紙

24.6×48.6cm
個人蔵

99
高橋 節郎
チョウ
制作年不詳
水彩、紙
27.4×39.7cm
個人蔵

100
高橋 節郎
仮題（森）
制作年不詳
墨、水彩、紙
33.9×51.0cm
個人蔵

101
高橋 節郎
《万化》のためのドローイング
制作年不詳
水彩、紙
18.0×26.0cm
個人蔵

102
高橋 節郎
仮題（コンポジション）
制作年不詳
水彩、インク、紙
18.0×26.0cm
個人蔵

103
高橋 節郎
《紋》のドローイング
制作年不詳
鉛筆、紙
42.0×29.0cm
個人蔵

104
高橋 節郎
《星座煌煌》のドローイング
制作年不詳
鉛筆、水彩、紙
34.0×24.5cm
個人蔵

105
高橋 節郎
《トルソーのある室内》のドローイング
制作年不詳
鉛筆、水彩、紙
29.0×42.0cm
個人蔵

106
高橋 節郎
作業道具一式
個人蔵

休館中のアウトリーチ活動

豊田市美術館は、2014年9月16日から2015年10月9日までの改修工事による休館期間を中心に、アウトリーチ（館外）活動として「アート・カレッジ」、「アートスクール」、「アートツアー」、そして「山口啓介|カセットプラント・ワークショップ」など、さまざまな活動を、交流館や小中学校を中心とした市内各所で展開した。

1 | アートカレッジ

交流館などを会場に、美術館館長や学芸員が、美術史や鑑賞のポイント、アートの魅力などを楽しく、わかりやすく解説した。



テーマ | 世間はアートであふれている

講師：吉田俊英（館長） 午後10時～11時30分
日時：6月12日〔木〕
会場：山の手婦人学級
参加人数：16人

テーマ | 日本美術史「牧野義雄とその時代」

講師：成瀬美幸（学芸員） 午後1時～2時
日時：10月14日〔火〕
会場：朝日丘交流館
参加人数：8人

テーマ | 現代美術「現代美術鑑賞ピンポイント講座ー豊田市美術館の作品から1」

講師：北川智昭（学芸員） 午後1時～2時
日時：10月25日〔土〕
会場：稲武交流館
参加人数：8人

テーマ | 鑑賞入門「日本文化と真・行・草」

講師：吉田俊英（館長）

日時：11月11日〔火〕 午前10時～11時
会場：藤岡南交流館
参加人数：22人

テーマ | 西洋美術史「ほんとに知ってる？印象派」

講師：鈴木俊晴（学芸員） 午前10時～11時
日時：11月15日〔土〕
会場：若園交流館
参加人数：23人

テーマ | 鑑賞入門「日本文化と真・行・草」

講師：吉田俊英（館長） 午後1時～2時
日時：11月27日〔木〕
会場：豊田商工会議所
参加人数：28人

テーマ | 美術講座

講師：吉田俊英（館長）
日時：11月29日〔土〕 午前10時～11時30分
会場：豊南交流館
参加人数：18人

テーマ | 工芸「人間国宝 黒田辰秋と工芸のおはなし」

講師：西崎紀衣（学芸員） 午後1時～2時
日時：12月9日〔火〕
会場：猿投台交流館
参加人数：21人

テーマ | エンジニアのための美術講座

講師：北川智昭（学芸員） 午後1時～3時
日時：12月17日〔水〕
会場：トヨタ自動車
参加人数：75人

テーマ | 建築「谷口吉生をもっと知ろうー現代建築の楽しみ方」

講師：能勢陽子（学芸員） 午後1時～2時
日時：12月20日〔土〕
会場：逢妻交流館
参加人数：40人

テーマ | 美術史入門「“日本画”と“洋画”」

講師：天野一夫（学芸員） 午前10時～11時
日時：1月13日〔火〕
会場：高橋交流館
参加人数：30人

テーマ | デザイン「デザインって何？ーモダンデザインの流れ」

講師：北川智昭（学芸員） 午後1時～2時
日時：1月24日〔土〕

会場：保見交流館
参加人数：24人

テーマ | 鑑賞テクニック「目からウロコの鑑賞入門」

講師：都筑正敏（学芸員） 午前10時～11時
日時：2月10日〔火〕
会場：崇化館交流館
参加人数：40人

テーマ | 美術と文化「美術にみられる月・日・星」

講師：西崎紀衣（学芸員） 午後1時～2時
日時：2月21日〔土〕
会場：松平交流館
参加人数：27人

テーマ | 大人のための教養講座「世間は楽しいアートに満たされている」

講師：吉田俊英（館長） 午後2時～3時30分
日時：2月28日〔土〕
会場：豊田市図書館
参加人数：53人

テーマ | 美術史入門「60分で分かる美術の流れ」

講師：北谷正雄（学芸員） 午前10時～11時
日時：3月10日〔火〕
会場：足助交流館
参加人数：20人

テーマ | 鑑賞テクニック「比較は美術を楽しむ」

講師：吉田俊英（館長） 午後1時～2時
日時：3月28日〔土〕
会場：小原交流館
参加人数：21人

2 | アートスクール

アーティストや美術館スタッフが学校を訪れ、子どもや先生を対象とした以下のプログラムを実施しました。



テーマ | 先生のための鑑賞入門

講師：都筑正敏（学芸員）
日時：11月17日〔月〕 午後3時～4時30分
対象：東保見小学教員
会場：東保見小学校
参加人数：40人

テーマ | ひかりの実ワークショップ

講師：高橋匡太（美術作家）、都筑正敏、鈴木俊晴（学芸員）
日時：11月26日〔水〕 午後1時40分～3時15分
対象：敷島小学生全児童、旭中学校1年生
会場：敷島小学校
参加人数：91人



テーマ | カセットプラントワークショップ

講師：北谷正雄、成瀬美幸（学芸員）
日時：12月9日〔火〕 午前9時40分～11時45分
対象：小学2年生
会場：若林西小学校
参加人数：65人

テーマ | 「鑑賞入門！はじめての一步」

講師：都筑正敏、鈴木俊晴（学芸員）
日時：12月12日〔金〕 午後10時～12時
対象：小学5年生
会場：岩倉小学校
参加人数：60人

テーマ | 「鑑賞入門！はじめての一步」

講師：都筑正敏、鈴木俊晴（学芸員）
日時：2月2日〔月〕 午後4時～5時
対象：図エクラブ
会場：若林東小学校
参加人数：40人

テーマ | カセットプラントワークショップ

講師：北谷正雄、成瀬美幸（学芸員）
日時：2月11日〔水〕 午後9時30分～11時30分
対象：中学校美術部
会場：美里中学校
参加人数：20人

テーマ | 「鑑賞入門！はじめての一步」

講師：都筑正敏、鈴木俊晴（学芸員）
日時：2月13日〔金〕 午後11時30分～12時30分
対象：小学5・6年生
会場：花山小学校
参加人数：40人

テーマ | 「鑑賞入門！はじめての一步」

講師：都筑正敏、鈴木俊晴（学芸員）
日時：2月17日〔火〕 午後10時55分～12時35分
対象：小学3年生
会場：根川小学校
参加人数：60人

テーマ | 「鑑賞入門！はじめての一步」

講師：鈴木俊晴（学芸員）
日時：2月23日〔月〕 午後10時～10時45分
対象：美術選択クラス
会場：愛知県立豊田高等支援学校
参加人数：12人

テーマ | カセットプラントワークショップ

講師：北谷正雄、成瀬美幸（学芸員）
日時：3月2日〔月〕 午後3時～3時45分
対象：小学校4年～6年生
会場：若林東小学校
参加人数：33人

テーマ | 下道基行「14歳と凹と凸」

講師：下道基行（美術作家）、能勢陽子（学芸員）
日時：3月17日〔火〕 午前10時45分～11時30分、
3月20日〔金〕 午前10時45分～11時30分
対象：中学2年生
会場：小原中学校
参加人数：30人



テーマ | カセットプラントワークショップ

講師：北谷正雄、成瀬美幸（学芸員）
日時：3月26日〔木〕 午前9時30分～11時30分
対象：中学校美術クラブ
会場：前林中学校
参加人数：33人

3 | 山口啓介「カセットプラントワークショップ」

音楽用のカセットテープのケースの中に植物の花や葉を天然樹脂とともに封入し、そのカセットをレングスのように積み重ねた立体作品を制作するワークショップ。全ての会場で作られた作品は、リニューアル後の美術館で開催した「山口啓介|カナリア展」（平成27年12月19日～28年4月3日）の会場で展示した。
講師：山口啓介（美術作家）、北谷正雄、成瀬美幸（学芸員）



【美術館・交流館】

開催日	会場	参加人数
2014/6/19 (木)	稲武小学校	82
6/27 (金)	稲武小学校	
6/28 (土)	稲武中学校	57
9/13 (土)	豊田市美術館	100
9/14 (日)	豊田市美術館	120
9/15 (月)	豊田市美術館	120
10/4 (土)	足助交流館	7
10/25 (土)	逢妻交流館	10
10/26 (日)	旭交流館	11
11/8 (土)	下山交流館	30
11/9 (日)	美里交流館	20
11/29 (土)	猿投北交流館	18
11/30 (日)	松平交流館	7
12/13 (土)	末野原交流館	15
12/14 (日)	梅坪台交流館	20
2015/1/17 (土)	崇化館交流館	19
1/18 (日)	前林交流館	8
2/7 (土)	益富交流館	25
2/8 (日)	竜神交流館	30
2/28 (土)	保見交流館	45
3/1 (日)	藤岡交流館	12
3/21 (土)	小原交流館	15
3/22 (日)	石野交流館	10

【屋外イベント】

開催日	会場	参加人数
2014/6/29 (日)	高橋交流館「七夕の集い」	170
7/12 (土)	井郷交流館「サマーフェスタ」	150
8/31 (日)	いなかとまちの夏休み	350
9/27 (土)	産業フェスタ	210
9/28 (日)	産業フェスタ	170
10/5 (日)	豊南交流館（豊南ふれあい祭）	300
10/5 (日)	わくわくワールド ものづくりフェスタ	180
11/2 (日)	若林交流館「ふれあい祭り」	150
2015/3/8 (日)	新☆豊田市 10 年祭 ～とよたのチカラ！満サイ～	250

4 | アートツアー

作家のアトリエや近郊の美術館、豊田の建築、京都の美術館等に行くバスツアーを行った。

・作家・山本富章さんのアトリエ訪問

講師：山本富章（美術作家）、成瀬美幸（学芸員）

日時：11月20日 [木] 午後1時～4時30分

会場：山本富章アトリエ

参加人数：14人

・愛知の美術館をめぐる旅1

講師：天野一夫（学芸員）

日時：11月28日 [金] 午前9時15分～午後5時

会場：愛知県陶磁美術館・名古屋市美術館

参加人数：14人

・初冬の京都・漆と工芸に親しむ

主催：高橋記念美術文化振興財団

講師：西崎紀衣（学芸員） 午前8時～午後6時

日時：12月3日 [水]

会場：清水三年坂美術館、掌美術館、高台寺

参加人数：30人

・建築史家・五十嵐太郎さんとめぐる豊田の建築

講師：五十嵐太郎（建築史家・評論家）、能勢陽子（学芸員）

日時：12月7日 [日] 午前9時15分～午後5時

会場：豊田スタジアム、逢妻交流館、鞍ヶ池記念館他

参加人数：39人

収集作品一覧

2014年度末 総点数

国内作家 2793点

国外作家 618点

合計 3411点

2014年度 購入作品

国内作家 16点

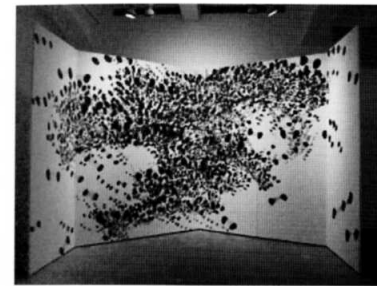
国外作家 2点

2014年度 寄贈作品

国内作家 5点

国外作家 0点

購入作品 | 国内作家 | 美術



浅見 貴子

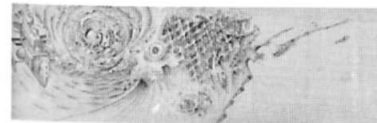
AZAMI Takako

双松図

2012年

墨、胡粉、樹脂膠、雲肌麻紙

265.0×600.0cm (六曲一隻屏風)



立石 大河亜

TATEISHI Tiger

水の巻

1992年

鉛筆、金箔、和紙

各37.0×891.0cm (全六巻)



伊島 薫

IZIMA Kaoru

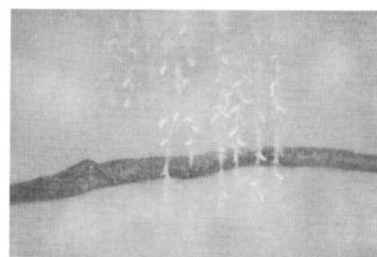
Angela Reynolds wears Valentino

2011年

ゼラチンシルバープリント

197.0×375.0cm、197.0×125.0cm、

197.0×125.0cm



徳岡 神泉

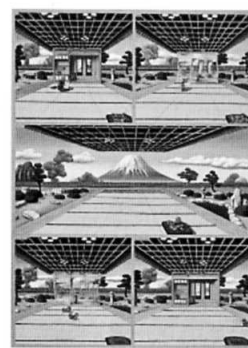
TOKUOKA Shinsen

柳

1953年

膠彩、紙

57.2×85.3cm



立石 大河亜

TATEISHI Tiger

借景亭

1992年

油彩、カンヴァス

227.3×162.0cm



福田 平八郎

FUKUDA Heihachiro

牡丹猫

1949年

膠彩、紙

80.0×50.8cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
Bottles—精製水

1982年
ゼラチンシルバープリント
61.0×50.8cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
Bottles—ブドウ糖注射液 I

1982年
ゼラチンシルバープリント
61.0×50.8cm



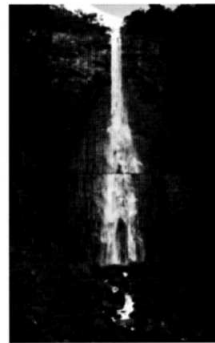
山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
Bottles—バレンタールB

1982年
ゼラチンシルバープリント
61.0×50.8cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
Bottles—ハルトマン—G3号 I

1982年
ゼラチンシルバープリント
61.0×50.8cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
落下する水—那智滝

1991年
ゼラチンシルバープリント
200.0×125.0cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
落下する水—鶏の子滝

2006年
ゼラチンシルバープリント
200.0×125.0cm



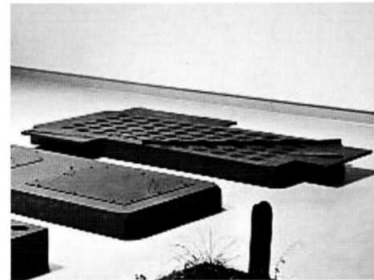
山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
暗い水—白山 IV

1993年
ゼラチンシルバープリント
125.0×200.0cm



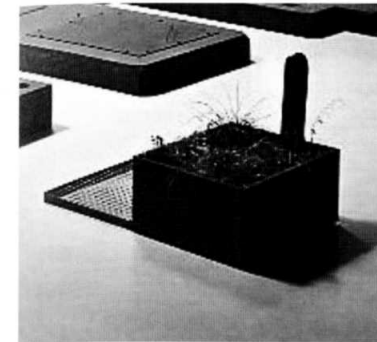
山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
暗い水—立山 I

1994年
ゼラチンシルバープリント
100.0×250.0cm



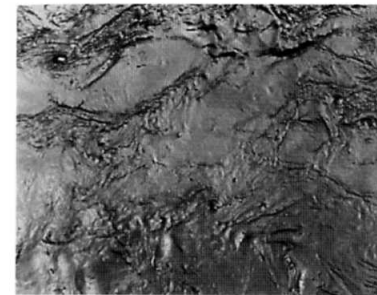
若林 奮
WAKABAYASHI Isamu
所有・雰囲気・振動—草の侵略及び持物について IV

1984年
鉄、鉛
16.2×203.3×134.0cm



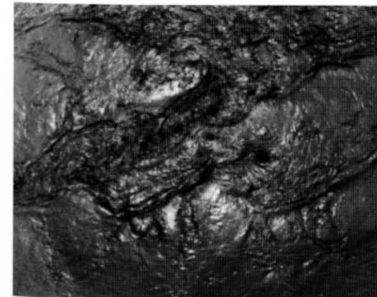
若林 奮
WAKABAYASHI Isamu
所有・雰囲気・振動—草の侵略及び持物について V

1981-83年
鉄、土、草
53.0×56.3×41.0cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
考える水 2

1997年
ゼラチンシルバープリント
100.0×125.0cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
考える水 41

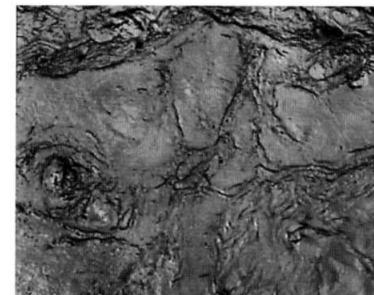
1997年
ゼラチンシルバープリント
100.0×125.0cm

購入作品 | 国外作家 | 美術



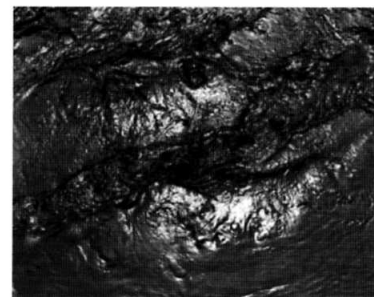
ボリス・ミハイロフ
Boris MIKHAILOV
イエスタディーズ・サンドウィッチ 12

1965-81年
Cプリント
147.5×107.5cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
考える水 8

1997年
ゼラチンシルバープリント
100.0×125.0cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
考える水 52

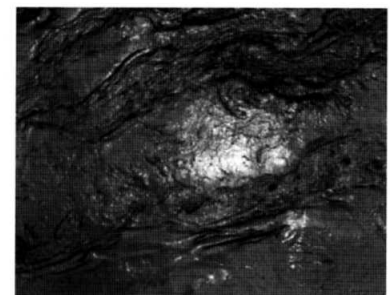
1997年
ゼラチンシルバープリント
100.0×125.0cm

贈入作品 | 国外作家 | デザイン



ヴェル・サクフルム (1898-99年の23冊分)

1898-99年
印刷、紙
29.3×28.3cm



山本 糾
YAMAMOTO Tadasu
考える水 35

1997年
ゼラチンシルバープリント
100.0×125.0cm

作品貸出実績

※会期が複数年度にまたがる巡回展は、
2014年度分のみとした。

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
岸田 劉生	自画像	岸田吟香・劉生・麗子ー知られざる精神の系譜	
岸田 劉生	代々木附近	岡山県立美術館	2014年4月18日ー5月25日
高橋 節郎	踊り	生誕百年 高橋節郎展（2014年4月26日ー2015年1月12日）	
高橋 節郎	化石	安曇野高橋節郎記念美術館／安曇野市豊科近代美術館	2014年4月26日ー6月1日
高橋 節郎	赤い絨毯	長野県信濃美術館	2014年12月13日ー2015年1月12日
高橋 節郎	紋		
高橋 節郎	花の星座		
高橋 節郎	紅梅白梅漆手宮		
高橋 節郎	蜃気楼		
高橋 節郎	ほか計69点		
三木 富雄	EAR	スリーピング・ビューティー	
小谷 元彦	9th Room	広島市現代美術館	2014年5月17日ー7月21日
ルーチョ・フォンターナ	空間概念		
若林 奮	熱変へ II (3rd Stage)	メタルズ！ー変容する金属の美ー（2014年6月28日ー2015年3月8日）	
		高岡市美術館	2014年6月28日ー8月31日
		碧南市藤井達吉現代美術館	2014年9月11日ー10月19日
		北九州市立自然史・歴史博物館	2014年11月1日ー12月23日
		新潟市新津美術館	2015年1月24日ー3月8日
李 禹煥	点より	挑戦する日本画：1950ー70年代の画家たち	
		名古屋市美術館	2014年7月5日ー8月24日
アリギエロ・ボエッティ	ONONIMO	ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」	
アリギエロ・ボエッティ	ALIGHIERO BOETTI	横浜美術館	2014年8月1日ー11月3日
プリンキー・パレルモ	無題		
モーリツ・コルネリス・エッシャー	反射球体と手	だまし絵II（2014年8月9日ー2015年3月22日）	
モーリツ・コルネリス・エッシャー	上昇と下降	Bunkamuraザ・ミュージアム	2014年8月9日ー10月5日
モーリツ・コルネリス・エッシャー	爬虫類	兵庫県立美術館	2014年10月5日ー12月28日
モーリツ・コルネリス・エッシャー	昼と夜	名古屋市美術館	2015年1月10日ー3月22日
モーリツ・コルネリス・エッシャー	邂逅		
モーリツ・コルネリス・エッシャー	物見の塔		
高松 次郎	赤ん坊の影 No. 122		
小川 博史	砂丘	第63回南風展 併催:生誕100年 小川博史展	
		愛知県美術館ギャラリーー	2014年8月19日ー8月24日
菱田 春草	春色	菱田春草展	
菱田 春草	鹿	東京国立近代美術館	2014年9月23日ー11月3日
ウィレム・デ・クーニング	二人の人物	ウィレム・デ・クーニング展	
		ブリヂストン美術館	2014年10月8日ー2015年1月12日
宮脇 綾子	柿	宮脇綾子展 アプリケで綴る暮らしの風景	
宮脇 綾子	鴨（背）	知多市歴史民俗博物館	2014年11月1日ー12月14日
宮脇 綾子	鴨（腹）		
宮脇 綾子	華		

作家名	作品名	展覧会名/会場	会期
宮脇 綾子	ひもと遊ぶ		
宮脇 綾子	はにわ（踊る男女）		
宮脇 綾子	はりえ日記		
	ほか計48点		
岸田 劉生	鯨坊主	愛知県美術館 平成26年度第5期コレクション展	
		愛知県美術館	2015年2月3日ー4月5日

教育・普及

1 講演会、シンポジウム

Ⅰ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展対談「寂聴とアラークーの往生漫談」

出演：瀬戸内寂聴(小説家、比叡山延暦寺禅光坊住職)、荒木経惟

司会：阿川佐和子(作家、エッセイスト)

日時：5月11日〔日〕午後1:00～3:30

1部 ジャズコンサート

2部 対談

会場：豊田市コンサートホール

参加人数：1,004人

Ⅱ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展学芸員によるスライド・レクチャー

担当：北川智昭

日時：5月31日〔土〕午後3:00～4:00

会場：美術館講堂

参加人数：84人

Ⅲ 企画展「ジャン・フォートリエ」展

連続講演会「フォートリエとはだれか!？」

「フォートリエをめぐるー《間の世界》に立つこと」

講師：堀江敏幸(作家／仏文学、早稲田大学教授)

日時：8月9日〔土〕 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：70人

「層状絵画の不安ージャン・フォートリエについてー」

講師：林道郎(美術史／美術批評、上智大学教授)

日時：8月10日(日) 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：70人

「フォートリエーアンフォルメルとその知的環境」

講師：芳賀徹(比較文学、静岡県立美術館館長)

日時：8月16日〔土〕 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：85人

Ⅳ 常設特別展「ドイツとオーストリアの雑誌とデザイン Ⅰ1890～1910」展

シンポジウム「アート(芸術／技)の垣塙ー世紀転換期

ドイツ語圏の芸術誌」

(科研費プロジェクト「ドイツ語圏の芸術誌の研究」／ジャボニスム学会後援)

基調講演：

インゲボルク・ベッカー(ベルリンプレーハン美術館前館長)

パネラー：

池田祐子(京都国立近代美術館主任研究員)

井戸田総一郎(明治大学文学部教授)

高橋麻帆(田村書店)

西川智之(名古屋大学大学院国際言語研究科教授)

古田香織(名古屋大学大学院国際言語研究科准教授)

日時：8月2日〔土〕 午前10時15分～午後4時

会場：美術館講堂

参加人数：30人

Ⅴ 常設特別展「ドイツとオーストリアの雑誌とデザイン Ⅱ1890～1910」展

スライドレクチャー「クリムト再考」

「ウィーン分離派とクリムトー『ヴェル・サクルム』を中心に」

講師：西川智之(名古屋大学大学院国際言語研究科教授)

日時：7月21日〔月、祝〕午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：45人

「クリムトⅠ素描から完成作へ」

講師：前田朋美(名古屋芸術大学非常勤講師)

日時：8月23日〔土〕 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：35人

Ⅵ 企画展「生誕百年 高橋節郎展」講演会

「高橋節郎一人と作品一」

講師：横山勝彦(金沢美術工芸大学大学院教授)

日時：7月13日〔日〕 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：51人

Ⅶ 企画展「生誕百年 高橋節郎展」講演会

「高橋先生の芸術力」

講師：三田村有純(東京藝術大学教授)

日時：8月30日〔土〕 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：50人

2 講座、解説会、ギャラリートーク、ワークショップ

解説会、ギャラリートーク

Ⅰ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展オープニング・トーク

講師：荒木経惟(出品作家)

日時：4月26日〔土〕午後2時～3時

会場：展示室

参加人数：300人

Ⅱ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展学芸員によるギャラリートーク

日時：①5月17日〔土〕、②6月1日〔日〕、③6月14日〔土〕

いずれも午後3時～4時

参加人数：①30人、②35人、③25人

Ⅲ 企画展「生誕百年 高橋節郎展」作品解説

講師：西崎紀衣(当館学芸員)

日時：①7月24日〔木〕、②8月30日〔木〕、③9月4日〔木〕

午後2時～3時

④9月13日〔土〕 午後4時～5時(ミュージアムフェスタ)

⑤9月15日〔月祝〕午後1時～2時(ミュージアムフェスタ)

会場：高橋節郎館

参加人数：①2人 ②15人 ③15人 ④25人 ⑤30人

ワークショップ

Ⅰ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展ワークショップ「往生写集アワード」

日時：展覧会期中(4月22日〔火〕～6月29日〔日〕)

会場：展覧会ホームページ上(「顔」「空景」「道」をテーマに、撮影データをインターネットで投稿していただき、優秀作品をホームページで紹介。)

参加人数：171人

Ⅱ 常設特別展「こじまひさやーあっち?こっち?どっち?」ワークショップ

「ミナテツドウ・ミナテツドウ Vol.2」

日時：8月3日〔日〕 午後2時～4時

講師：小島久弥(作家)

対象：小学生

会場：講堂、展示室9

参加費：無料

内容：小島久弥氏の映像作品づくりを追体験できるワークショップを開催した。

参加人数：15人 (親子参加者合計：40名)



3 コンサート、映画上映会、パフォーマンス 等

コンサート

Ⅰ 企画展「ジャン・フォートリエ」展

ジャズ・コンサート

ピアニスト：後藤浩二

日時：8月24日〔土〕 午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：150人

Ⅱ 企画展「生誕百年 高橋節郎展」

オープニング記念コンサート

演奏：山田晃子(ヴァイオリン)、東誠三(ピアノ)

日時：7月11日〔金〕 午後3時15分～4時

会場：美術館講堂

参加人数：120人

Ⅲ 企画展「生誕百年 高橋節郎展」

トーク&ミニコンサート URUSHI

日時：①7月12日〔土〕、②7月13日〔日〕、③7月15日〔日〕

④7月16日〔水〕、⑤7月18日〔金〕

いずれも午後1時～1時50分

トーク：作品ガイドボランティア

演奏：熊代治子、玉澤昌子(ピアノ)

会場：高橋節郎館展示室

参加人数：①20人 ②33人 ③10人 ④13人 ⑤50人

Ⅳ 企画展「生誕百年 高橋節郎展」

生誕百年記念コンサート

演奏：岡林和歌(クラリネット)ほか

日時：9月14日〔日〕 午後1時～3時

会場：美術館講堂

参加人数：170人

映画上映会

Ⅰ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展

映画上映会

「アラキメンタリ」(トラヴィス・クロゼ監督/荒木経惟出演 2005年 75分)

日時：5月4日(日)午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：87人

「うつしみ」(園子温監督/荒木経惟出演 2000年 108分)

日時：6月29日〔日〕午後2時～3時30分

会場：美術館講堂

参加人数：150人

Ⅱ 企画展「荒木経惟 往生写集一顔・空景・道」展

記録映像「対談 寂聴とアラークーの往生漫談」上映会

日時：6月8日〔日〕午後2時～3時30分

映像：撮影＝青木兼治

出演＝瀬戸内寂聴、荒木経惟、阿川佐和子

会場：美術館講堂

参加人数：170人

4 作品ガイドボランティア

美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくことを目的に平成8年より活動を開始。

平成27年3月現在、25名が登録。

ギャラリーツアー

内容：来館者との対話を交えながら、企画展／常設展の展示作品についてのギャラリーツアーを行った。

定時：毎日(木曜日を除く)午後2時～(関連事業開催

日は午前11時～)

団体：団体からの事前予約によるツアー

定時	活動日数	311
	参加者数	1236
団体	件数	29
	参加者数	1,070
参加者数合計		2,306

現代美術の鑑賞入門

作品をじっくり読み解くギャラリートーク

内容：作品ガイドボランティアとの対話を交えながら、ひとつの作品を約1時間かけて鑑賞するプログラム。

各回午後3時～

日にち	トーカー	作 品	参加人数
2014年 5月24日	角田真理子	クリムト《オイゲニア・ブリマフェージュの肖像》	16
6月28日	小林恒義	奈良美智《Dead Flower》	34
8月17日	佐孝桂子	小嶋悠司《機土・源生》	22

5 出版、ビデオ制作

出版、印刷物

『展覧会のご案内 2014～2015』

『年報(平成26年度版)』

『配布用ギャラリーガイド』『紀要 No.8』

企画展、テーマ展、常設展に関する出版／印刷物は、各展覧会の掲載ページを参照のこと。

『紀要 No.8』

ビデオ制作

・平成26年度自主企画展の記録ビデオ

「荒木経惟」展記録ビデオ 15分

「ジャン・フォートリエ」展記録ビデオ 15分

「ドイツとオーストリアの雑誌とデザインⅠ1890～1910」展 15分

「こじまひさやーあっち?こっち?どっち?」展記録ビデオ 15分

「生誕百年 高橋節郎」展記録ビデオ 15分

6 小・中学校美術館学習

■中学校／美術館見学学習

来館日	学校名	3年生徒数(引率数)
8月21日	旭中学校	26(3)
8月22日	高岡中学校	158(10)
合計		184(13)

＊学習の基本的な流れ

①講堂へ入場

②館職員による概要説明、館紹介ビデオ視聴

③クラス単位で常設展、企画展を観覧

④講堂へ再入場、点呼後、退場

7 研修会

教員初任者研修・校外研修会

7月31日／70人

図工・美術部 夏季実技研修会・豊田市免許状更新講習

8月7日／141人

8 | 博物館実習

実習生：15人 (8大学)
実習期間：平成26年8月4日【月】－8月8日【金】
計5日間
カリキュラム：

	実習内容
1日目	オリエンテーション、館内見学
	美術館の役割
	館内の各種業務について
2日目	美術館施設について
	作品収集の意義
	美術館建築について
3日目	作品の管理・保存
	作品・資料調査、調書作成／作品の取り扱い
4日目	教育普及活動について
	ボランティアによるギャラリートーク体験
	展覧会の企画から実施まで
5日目	調査・研究活動について
	実習のまとめ～感想及び意見交換

利用実績

1 | 観覧者数

月別観覧者数										(人)
年	月	企画展			常設展			合 計		
		日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均	日数	観覧者数	1日平均
26	4	8	1,843	230	14	1,088	78	14	2,931	209
	5	28	7,947	284	28	351	13	28	8,298	296
	6	25	10,624	425	25	275	11	25	10,899	436
	7	11	1,992	181	18	1,101	61	18	3,093	172
	8	28	5,909	211	28	7,941	284	28	13,850	495
	9	13	3,689	284	13	771	59	13	4,460	343
	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		113	32,004	283	126	11,527	91	126	43,531	345

2 | ギャラリー利用状況

2 ギャラリー利用状況 (人)			
開催期間	開催日数	展覧会名	入場者数
4月1日(火)～4月6日(日)	6	伊丹靖夫日本画展	235
4月22日(火)～4月27日(日)	6	キルトハーツ回顧展	1,135
4月29日(火)～5月4日(日)	6	新宅雄樹個展	579
5月6日(火)～5月11日(日)	6	中道芳美命の薔薇画展	962
5月13日(火)～5月18日(日)	6	2014 二科三河グループ展	385
5月20日(火)～5月25日(日)	6	第14回 G、A、M公募展	258
5月27日(火)～6月1日(日)	6	第12回 ラ・ヴァレー豊田展	593
6月10日(火)～6月15日(日)	6	K-TEN, 21	1,152
6月17日(火)～6月22日(日)	6	ハートアートコミュニケーション展	721
6月24日(火)～6月29日(日)	6	i f 展	673
8月26日(火)～8月31日(日)	6	上野在森展	231
9月2日(火)～9月7日(日)	6	第8回 創造の仲間たち展	710
	72		12団体 7,634

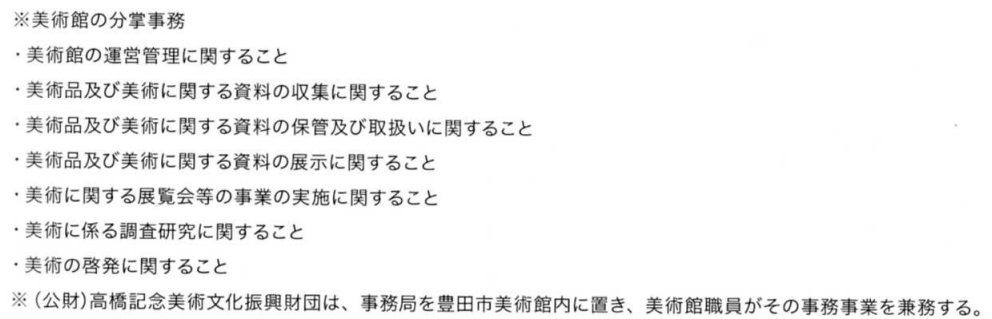
ワークショップ除く

(人)

						(人)
年	月	日数	レストラン	ミュージアムショップ	茶室童子苑	合計
26	4	14	860	423	1,554	2,837
	5	28	2,849	1,577	1,459	5,885
	6	25	2,956	1,916	1,533	6,405
	7	18	1,037	649	1,164	2,850
	8	28	2,553	1,552	958	5,063
	9	13	1,617	1,131	1,487	4,235
	10	-	-	(263)	404	667
	11	-	-	(261)	1,178	1,439
	12	-	-	(259)	439	698
27	1	-	-	(258)	579	837
	2	-	-	(231)	57	288
	3	-	-	(247)	439	686
合計		126	11,872	8,767	11,251	31,890

4 | レストラン等付属施設利用状況

1 | 組織図 ※平成27年4月1日現在



2 | 美術館運営協議会

より多くの感動を与え、親しまれる美術館運営を目指して、運営協議会を設置し、展覧会の開催、美術文化の普及、来館者サービスの現状と課題について協議しました。

- ①委員 10名
- ②開催日 平成26年7月16日（水）
平成27年1月29日（木）

3 | 美術品収集委員会

浅見貴子 作「双松図」はじめ18件の美術品購入と5件の寄贈受け入れについての審査及び評価がされ、すべての案件が可決されました。

- ①委員 6名
- ②開催日 平成26年7月3日（木）

4 | 美術館ボランティア

来館者の館内案内の他、新聞記事や図書の整理、アンケートの収集などを行いました。

- ①発足 平成7年11月
- ②登録人数 15人 ※平成26年4月1日現在
- ③活動内容 ・館内の案内（作品解説は除く）
・庶務業務の補助 など

5 | 作品ガイドボランティア

毎日（木曜日を除く）午後2時から（土・日・祝日は午前11時からもあり）、来館者と対話しながら作品の魅力を紹介し、鑑賞のガイドをするギャラリー・トークの他、美術館学習での小・中学生やガイドを希望する団体等への対応をしました。

- ①発足 平成9年7月
- ②登録人数 25人 ※平成26年4月1日現在
- ③活動内容 ・常設展、企画展でのギャラリーツアー
・美術館学習のための事前出張授業
・団体来館者への作品解説 など

関係法規

Ⅰ 豊田市美術館条例

平成7年3月31日
条例第1号

趣旨

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、豊田市美術館の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

設置

第2条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、豊田市美術館（以下「美術館」という。）を豊田市小坂本町8丁目5番地1に設置する。

事業

- 第3条 美術館においては、次に掲げる事業を行う。
- (1) 美術品及び美術に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
 - (2) 美術に関する専門的な調査研究を行うこと。
 - (3) 美術に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
 - (4) 美術に関する講演会、講習会等を開催すること。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置目的を達成するため、教育委員会が必要と認めた事業

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、中学生以下の者は、無料とする。

利用の許可

- 第5条 別表第2に掲げる施設（以下「施設」という。）を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
- 2 学術研究等のため、美術品等の撮影、模写、模造、熟覧等（以下「美術品等の利用」という。）をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。
 - 3 教育委員会は、美術館の管理上必要があると認めたときは、前2項の許可に条件を付することができる。

利用の不許可

- 第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設の利用及び美術品等の利用を許可しない。
- (1) 利用目的に違反すると認めたとき。
 - (2) 商業宣伝、営業等の行為が主たる目的であると認めたとき。
 - (3) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。
 - (4) その他管理上支障があると認めたとき。

許可の取消し等

第7条 教育委員会は、第5条第1項又は第2項の規定により許可を受けた者（以下「利用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は公益上特に必要があると認めたときは、許可を取り消し、利用の中止若しくは停止を命じ、又は許可に付された条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこれに基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
 - (2) 許可に付された条件に違反したとき。
 - (3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- 2 前項の規定による許可の取消し等によって利用者に損害が生じた場合においても、市は、その責めを負わないものとする。

使用料

第8条 利用者（第5条第1項の規定により許可を受けた者に限る。）は、許可を受けたときにおいて、別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

観覧料等の減免

第9条 市長は、特別の事由があると認めたときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

観覧料等の不還付

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、市長において特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

権利の譲渡等の禁止

第11条 利用者は、その利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

設備の承認及び原状回復

- 第12条 利用者は、その利用に際して特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。
- 2 利用者は、前項の規定により特別の設備をしたときは、利用後速やかに原状に回復しなければならない。
 - 3 利用者が前項の義務を履行しないときは、市がこれを代行し、その費用を利用者から徴収することができる。

入館の制限

第13条 教育委員会は、美術館内の秩序を乱し、又は乱すおそれがあると認めた者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

損害賠償

第14条 美術館の入館者及び利用者は、故意又は過失により建物、附属設備又は物品を破損し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長が損害を賠償させることが適当でないと認めたときは、この限りでない。

美術館運営協議

- 第15条 法第20条第1項の規定に基づき、美術館に豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。
- 2 運営協議会は、委員10人以内をもって組織する。
 - 3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱し、又は任命する。
 - (1) 学校教育の関係者
 - (2) 社会教育の関係者
 - (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - (4) 学識経験を有する者
 - (5) 地域との連携に資する活動を行う者
 - (6) 公募による市民（市内に居住し、通勤し、又は通学する個人をいう。）
 - 4 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
 - 5 前項本文の規定にかかわらず、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任

者の残任期間とする。

委任

第16条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

1 この条例は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

準備行為

2 この条例の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則（平成15年3月28日条例第10号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月29日条例第24号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成18年12月27日条例第92号）

施行期日

1 この条例は、平成19年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

経過措置

2 施行日前に施行日以後の利用について許可を受けた者からは、改正前の豊田市美術館条例の規定にかかわらず、施行日前においても当該利用に係る改正後の豊田市美術館条例に定める額の使用料を徴収する。

附則（平成24年3月30日条例第14号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表第1（第4条関係）

豊田市美術館観覧料				
区分		単位	観覧料（円）	
			個人	20人以上の団体
常設展示	一般	1人1回	300	250
	大学生又は高校生	1人1回	200	150
常設特別展示		1人1回	2,000円以内で市長がその都度定める額	
企画展示		1人1回		

備考 「大学生又は高校生」とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校若しくは専修学校在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。

別表第2（第5条、第8条関係）

豊田市美術館使用料			
1 ギャラリー使用料			
区分	利用目的	単位	使用料（円）
ギャラリー	美術に関する展覧会等の開催	1日	12,000

2 茶室使用料

区分	利用目的	使用料（円）		
		午前 (9:00~13:00)	午後 (13:00~17:00)	夜間 (17:00~21:00)
一步亭	茶会の開催	3,500	3,500	3,500
豊祥庵		1,500	1,500	1,500

1 豊田市美術館管理規則

平成7年9月29日

教育委員会規則第8号

趣旨

第1条 この規則は、豊田市美術館条例（平成7年条例第1号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づき、豊田市美術館（以下「美術館」という。）の管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

開館日及び開館時間

第2条 美術館の開館日は、次に掲げる日を除く日とする。

- （1） 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たる日を除く。）
 - （2） 12月28日から翌年1月4日まで
- 2 美術館の開館時間は、午前10時から午後5時30分までとする。ただし、茶室にあつては、午前9時から午後9時までとする。
- 3 前項の規定にかかわらず、美術館が主催して展示する美術品等（条例第3条第1号に規定する美術品等をいう。以下同じ。）の展示会場（以下「展示会場」という。）へ入場できる時間（次項において「入場時間」という。）は、午前10時から午後5時までとする。
- 4 前3項の規定にかかわらず、教育委員会は、特に必要があると認めたときは、臨時に開館日、開館時間及び入場時間を変更することができる。

観覧券の交付

第3条 教育委員会は、条例第4条の規定により観覧料を納付した者に対し、観覧券を交付するものとする。

観覧券の提示

第4条 前条の規定により観覧券の交付を受けた者は、展示会場へ入場する際に当該観覧券を入口の係員に提示しなければならない。

利用の手続

第5条 条例第5条第1項の規定により施設の利用許可を受けようとする者は、豊田市美術館利用許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 条例第5条第2項の規定により美術品等の利用許可を受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- （1） 美術品等を利用する者の氏名及び住所
- （2） 利用する美術品等の名称その他の美術品等の特定に必要な情報
- （3） 美術品等の利用目的
- （4） 美術品等の利用日時
- （5） その他教育委員会が必要と認める事項

3 前項の場合において、利用しようとする美術品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面をそれぞれ添付しなければならない。

らない。ただし、教育委員会がその必要がないと認めるときは、この限りでない。

4 第1項及び第2項の許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、これらの項の申請書その他必要な書面を別表第1に定める区分に従い同表に掲げる期間内に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

利用許可書の交付

第6条 教育委員会は、利用を許可したときは、豊田市美術館利用許可書（様式第2号。以下「許可書」という。）を申請者に交付する。

利用期間

第7条 施設を引き続き利用することのできる期間（以下「利用期間」という。）は、12日間とする。ただし、美術館が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用するときその他教育委員会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

2 利用期間には、休館日を含めないものとする。

利用の変更

第8条 利用許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、許可書に記載された事項を変更しようとするときは、豊田市美術館利用変更許可申請書（様式第3号）に許可書を添えて教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により利用の変更を許可したときは、豊田市美術館利用変更許可書（様式第4号。以下「変更許可書」という。）を利用者に交付する。

3 前項の規定により利用の変更を許可された場合において、既納の使用料の額が変更後の使用料の額に対して不足額を生じるときは、利用者は、直ちに当該不足額を納入しなければならない。

利用許可の取消し

第9条 利用者は、許可の取消しを受けようとするときは、豊田市美術館利用許可取消申請書（様式第5号）に許可書又は変更許可書を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定により許可を取り消したときは、豊田市美術館利用許可取消通知書（様式第6号）を利用者に交付する。

観覧料等の減免

第10条 条例第9条の規定により観覧料及び使用料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- （1） 小学校、中学校若しくは市内に所在する高等学校又はこれらに準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として児童又は生徒の引率者が美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
- （2） 次に掲げる要件のいずれかに該当する者が当該要件に該当することを証明するものを係員に提示し、及び確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 市内に住所を有し、かつ、高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
イ 市内に所在する高等学校又はこれに準ずる学校に通学していること。
- （3） 次に掲げる手帳のいずれかの交付を受けている者及びその介添者が当該手帳を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条に規定する身体障害者手帳
イ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）

第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳

ウ 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条に規定する戦傷病者手帳

エ 厚生労働大臣の定めるところにより交付された療育手帳

（4） 市内に住所を有する者で次に掲げる証書のいずれかの交付を受けているものが当該証書を係員に提示し確認を受けて美術館の展示を観覧しようとする場合 観覧料の全額
ア 高齢者の医療の確保に関する法律施行規則（平成19年厚生労働省令第129号）第17条第1項に規定する被保険者証
イ 市が実施する母子・父子家庭医療費支給事業において当該母子・父子家庭医療費の受給者に対し交付する受給者証

（5） 美術館の常設特別展示又は企画展示を観覧しようとする者が併せて美術館の常設展示を観覧しようとする場合 常設展示の観覧料の全額

（6） 市又は市の機関が主催し、又は他の団体と共催する行事に施設を利用する場合 使用料の全額

（7） その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合 その都度教育委員会が定める額

2 前項第1号又は第7号の規定により観覧料の減免を受けようとする者はあらかじめ豊田市美術館観覧料減免申請書（様式第7号）を、同項第6号又は第7号の規定により使用料の減免を受けようとする者は第5条第1項に規定する申請書の提出に併せて豊田市美術館使用料減免申請書（様式第8号）を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要がないと認めたときは、この限りでない。

3 教育委員会は、観覧料の減免申請を承認したときは豊田市美術館観覧料減免承認書（様式第9号）を、使用料の減免申請を承認したときは豊田市美術館使用料減免承認書（様式第10号）を交付する。

優待券等

第11条 教育委員会は、特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

観覧料等の還付

第12条 条例第10条ただし書の規定による観覧料及び使用料の還付は、別表第2に定める基準によるものとする。

利用責任者

第13条 利用者は、美術館の施設及び美術品等の利用に係る規律を保持するため、あらかじめ利用責任者を定めておかなければならない。

事前打合せ

第14条 利用者は、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打合せを行わなければならない。ただし、教育委員会が特に必要ないと認めたときは、この限りでない。

利用後の届出等

第15条 利用者は、利用が終わったときは、直ちにその旨を届け出て、係員の点検を受けなければならない。

利用者の遵守事項

第16条 利用者は、次に定める事項を守らなければならない。

- （1） 利用許可を受けていない施設及びその附属設備並びに美術品等の利用を

- しないこと。
- (2) 次条各号に規定する行為をしないこと。
- (3) 施設の利用に当たっては、入場者の安全確保の措置を講じ、及び入場者に次条各号に規定する行為をさせないこと。
- (4) 美術品等の利用に当たっては、美術品等の保存に悪影響を与え、及び観覧者の観覧に支障を来す行為をしないこと。
- (5) 係員の指示に従うこと。

入館者の禁止事項

第17条 入館者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 施設及びその附属設備並びに美術品等を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をすること。
- (2) 図書閲覧室の図書、文献等の資料を所定の場所以外で閲覧すること。
- (3) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をすること。
- (4) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をすること。
- (5) 他人に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込むこと。
- (6) 許可を受けないで美術館内及び敷地内において物品を販売し、又は金品の募集等の行為をすること。
- (7) その他美術館の運営に支障を来す行為をすること。

美術館運営協議会の会長

第18条 豊田市美術館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、運営協議会を代表し、会務を総理する。

運営協議会の会議

第19条 運営協議会は、会長が招集し、議長となる。

- 2 運営協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 運営協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

委任

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

施行期日

- 1 この規則は、平成7年11月11日（以下「施行日」という。）から施行する。

準備行為

- 2 この規則の規定に基づく利用許可の申請その他の準備行為は、施行日前においても行うことができる。

附則（平成13年3月30日教委規則第1号）
この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成15年3月28日教委規則第3号）
この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附則（平成16年12月27日教委規則第16号）
この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月29日教委規則第5号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成18年12月27日教委規則第13号）

施行期日

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

経過措置

- 2 この規則の施行の際現に改正前の豊田市美術館管理規則の規定に基づいて作成されている帳票は、改正後の豊田市美術館管理規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附則（平成19年3月30日教委規則第4号）
この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成20年3月28日教委規則第8号）
この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附則（平成26年10月1日教委規則第7号）
この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附則（平成27年10月1日教委規則第17号）

施行期日

- 1 この規則は、平成27年10月1日から施行する。

経過措置

- 2 この規則の施行の際現に改正前の豊田市美術館管理規則の規定に基づいて作成されている帳票は、改正後の豊田市美術館管理規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

別表第1（第5条関係）

利用申請期間		
利用区分		期間
施設の利用	ギャラリー	利用日の属する月が1月から3月までの場合 前年の1月5日から1月31日までの間
		利用日の属する月が4月から6月までの場合 前年の4月1日から4月30日までの間
		利用日の属する月が7月から9月までの場合 前年の7月1日から7月31日までの間
		利用日の属する月が10月から12月までの場合 前年の10月1日から10月31日までの間
	茶室	利用日の属する月の前12月から利用日の前7日までの間
美術品等の利用		利用日の属する月の前6月から利用日までの間

備考 引き続き2日以上利用しようとする場合の「利用日」とは、その最初の日をいう。

別表第2（第12条関係）

観覧料還付の基準	
区分	還付率
災害その他観覧料を納付した者の責めに帰すことができない事由によって観覧ができなくなった場合	100%
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

使用料還付の基準	
区分	還付率
災害その他利用者の責めに帰すことができない事由による取消し	100%
利用日前30日までに取消申請がなされた場合	90
利用日前20日までに取消申請がなされた場合	60
利用日前10日までに取消申請がなされた場合	30
その他教育委員会が特別の事由があると認めた場合	その都度教育委員会 が定める還付率

沿革

昭和	54 (1979)年	7月	市民意識調査で、市民の20%が美術館の建設を望む結果
	59 (1984)年	3月	第4次豊田市総合計画 (1984 ― 1990)の文化施設整備で、(仮称)豊田市美術館の建設を発表
平成	2 (1990)年	4月	(仮称)豊田市美術館構想委員会を設置
	3 (1991)年	3月	(仮称)豊田市美術館構想委員会が(仮称)豊田市美術館構想を答申
		4月	(仮称)豊田市美術館美術品収集委員会 (平成6年8月に同選定委員会に改称)を設置
		9月	(仮称)豊田市美術館・高橋節郎記念館基本計画を策定
	4 (1992)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設基本設計を策定
	5 (1993)年	3月	(仮称)豊田市美術館建設実施設計を策定
		6月	建設工事着工
		10月	ヴァチカン美術館との友好交流提携に調印
	6 (1994)年	6月	デトロイト美術館との友好交流提携に調印
	7 (1995)年	3月	豊田市美術館条例公布
		6月	建設工事竣工
		11月	豊田市美術館開館
	8 (1996)年	7月	入館者10万人達成
		11月	豊田市都市景観賞 (主催：豊田市)
		12月	サインデザイン準優秀賞 (主催：(社)日本サインデザイン協会)
	9 (1997)年	11月	入館者20万人達成
		11月	建築業協会賞 (主催：建築業協会)
	10 (1998)年	2月	愛知まちなみ建築賞 (主催：愛知県)
		4月	博物館登録
		12月	中部建築賞 (主催：中部建築賞協議会)
	11 (1999)年	5月	入館者30万人達成
	12 (2000)年	11月	公共建築賞 (主催：(社)公共建築協会)
	13 (2001)年	1月	入館者40万人達成
		12月	サインデザイン準優秀賞 (主催：(社)日本サインデザイン協会)
		12月	印刷出版研究所奨励賞 (主催：印刷出版研究所)
	14 (2002)年	3月	豊田市美術館モニターを設置
		4月	豊田市美術館運営協議会を設置
		10月	グットデザイン賞 (主催：(財)日本産業デザイン振興会)
		12月	サインデザイン優秀賞 (主催：(社)日本サインデザイン協会)
	15 (2003)年	1月	入館者50万人達成
	16 (2004)年	6月	入館者60万人達成
		9月	豊田市美術館評価専門委員会を設置
	17 (2005)年	11月	開館10周年記念事業
		12月	入館者70万人達成
	19 (2007)年	7月	入館者80万人達成
	22 (2010)年	12月	入館者100万人達成
	23 (2011)年	8月	入館者110万人達成
	24 (2012)年	12月	入館者120万人達成
	25 (2013)年	5月	入館者130万人達成
	26 (2014)年	9月	バリアフリー化等改修工事による休館 (- 27年10月)

豊田市美術館 年報 No.19 (平成26年度)

発行：2016年3月

編集・発行：豊田市美術館

愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

tel.0565-34-6610

印刷・製作：東名印刷株式会社